

アイヌ民話ライブラリ 1

# 上田トシの民話 1



アイヌ民族博物館

第5話 散文の物語

---

# エゾマツと魔鳥

収録日：1999年9月29日

資料番号：35298A

添付CD：2-2（35分47秒）

第5話 散文の物語「エゾマツの女神と魔鳥」<sup>1</sup>

(エゾマツ神の妻が語る)

スンク トノ マツ アネ。  
**sunku tono mat a=ne.**  
 エゾマツ 神 妻 (私)である

私はエゾマツの神の妻です。

イシカラ ホントモ コロ クル  
**Iskar hontomo kor kur**  
 石狩川 の中流 の 人

石狩川の中流に住む男と

イシカラ エトコホ<sup>2</sup> ウン クル  
**Iskar etokoho un kur**  
 石狩川 の上流 に住む 人

河口に住む男は

ウコトクイエコロパ ワ  
**ukotokuyekorpa wa**  
 互いに仲が良く て

仲が良く

5 ウコパヨカ ウコシネウパ コロ  
**ukopayoka ukosinewpa kor**  
 互に行き来し 互いに訪ね合い ながら

互に行き来し、訪ね合って

オカアン<sup>3</sup> ロク ヒネ オラ  
**oka=an rok hine ora**  
 暮らす(私達) だった して こんど

暮らしていました。

タネ ケマパセパ ヒ オラノ アナクネ  
**tane kemapasepa hi orano anakne**  
 もう 足が重い とき それから は

もう年をとって足が弱ってからは

エイタサ ウコパヨカ カ ソモ キ ノ  
**eytasa ukopayoka ka somo ki no**  
 あまり 互に行き来 も しないで

あまり行き来もしないで

オカアン ペ ネ ア プ、  
**oka=an pe ne a p,**  
 暮らす(私) もの だっ た が

暮らしていたのですが

10 パハウヌアン アクス  
**pahawnu=an akusu**  
 噂を聞く(私) したところ

うわさでは

イシカラ プトウ ウン ニシパ ポホ  
**Iskar putu un nispa poho**  
 石狩川 の河口 の 長者 の息子

石狩川の河口の旦那さんの息子が

アキモトウライヌ ワ  
**a=kimoturaynu wa**  
 (人)山で行方不明になっ て

山で行方不明になり

- 1999年9月29日、上田トシ氏宅にて、本田優子氏が調査。別調査で偶然藤村久和氏が同席している。この話の伝承経路については上田トシ氏は何も語っていないが、当館の音声資料34626で川上まつ子氏がほぼ同じ内容の話を語っている。
- 以後の話の展開からして、プトウ putu「河口」の言い間違いと思われる。以下何か所かに見られる。
- この前後は三人称と一人称が混在していて、話者が不明確になっている。

オラノ ハンケノ オカ ウタラ ネ ヤ  
 orano hankenno oka utar ne ya  
 それから 近くに いる 人たち だ とか

それから近くに住む人たちや

コタン コロ ウタラ ネ ヤツカ  
 kotan kor utar ne yakka  
 村 の 人たち で も

村人たちが

15 ケシト アン コロ  
 kesto an kor  
 毎日

毎日

イウオロ コホユツパ ワ イフナラパ ヤツカ  
 iwor kohoyuppa wa ihunarpa yakka  
 狩り場 を走っ て 人探しをし ても

山を駆け回って探しても

エネ ネ ヒ カ  
 ene ne hi ka  
 どう である ことも

どうにも

ウコエラミシカリパ ワ オカ  
 ukoeramiskaripa wa oka  
 が互いにわからない して いる

行方がわからないでいる

(中流に住む息子が語る)

ヤク アイェ ヒ アオナハ ヌ ヒネ  
 yak a=ye hi a=onaha nu hine  
 と (私)言う こと (私の)父 聞いて

という話を父が聞いて

20 オラ アオナハ エネ ハウエアニ。  
 ora a=onaha ene hawean\_hi.  
 こんど (私の)父 このように言った

このように言いました。

“エネ アトクイエコン ニシパ ネ ワ  
 “ene a=tokuyekor\_nispa ne wa  
 こんなに (私)親しい 旦那さん であって

「あんなに仲の良かった旦那さんで

イネノ シネ ポ タクブ  
 i=nenno sine po takup  
 (私)のように ひとり 息子 だけ

私と同じく一人きりの

コロ クル ネ ア プ、  
 kor kur ne a p,  
 持つ 人 だっ た が

息子なのに

マク ネ ヒネ  
 mak ne hine  
 どう であって

どうしたことか

25 ポホ アキモトウライヌ ワ  
 poho a=kimoturaynu wa  
 息子 (人)山で行方不明になっ て

息子が山で行方不明になって

ケシト アン コロ ハンケノ オカ ウタラ  
 kesto an kor hankeno oka utar  
 毎日 近くに いる 人たち

毎日近くの人たちが

イフナラパ コロ オカ ヤク アイェ クス  
 ihunarpa kor oka yak a=ye kusu  
 人探しをし ながら いる と (私)言う ので

探しているようだ。

エアニ カ ネウン エヤイモニシカ ヤツカ  
 eani ka neun e=yaymoniska yakka  
 あなた も どのように (お前)忙しく ても

おまえもどんなに忙しくても

エセメアンヌ<sup>4</sup> ノ カ  
 e=semeannu no ka  
 (お前)気遣いし て も

気づかって

30 イフナラ ワ インカラ”  
 ihunara wa inkar”  
 人探しをし て みる

探しに行ってみなさい」

セコロ アオナハ イェ ヒ クス オラ  
 sekor a=onaha ye hi kusu ora  
 と (私の)父 言う ので こんど

と父が言うので

エキムネアン ワ イフナラアン ヤツカ  
 ekimne=an wa ihunara=an yakka  
 山獵に行く(私) して 人探しをする(私) しても

山に行って探しましたが

ネプ カ アヌカルミ カ イサム ノ  
 nep ka a=nukar\_humi ka isam no  
 何 も (私)見る 感じ も ない で

何の手がかりもなく

オヌマン イワカン ルウエ ネ ア プ オラ  
 onuman iwak=an ruwe ne a p ora  
 夕方 帰る(私) こと だった が こんど

夕方に帰って来ました。

35 イシムネ アン  
 isimne an  
 翌日 になる

翌日

エキムネ エトコ アオイキ コロ  
 ekimne etoko a=oyki kor  
 山獵に行く 準備 (私)し ながら

山に行く準備をして

ヤイソイエネレアン ア プ オラノ  
 yaysoyenerere=an a p orano  
 自分で外に出る(私) だった が こんど

出かけたのに

イシカツ トウラシ  
 Iskar\_ turasi  
 石狩川 をさかのぼって

石狩川をさかのぼって

4 意味未詳。セマナン *semanan* 気遣フ、心配スル [久 767] と言おうとしたものか。

アラパアン ルスイ フミ  
 arpa=an rusuy humi  
 行く(私) したい 感じ

行ってみたい気がします。

40 マカナク ネ ワ… ヤ  
 makanak ne wa...ya  
 どのように であって か

どうして

エネ イシカツ トウラシ  
 ene isikar\_ turasi  
 こんなに 石狩川 を遡って

こんなに石狩川を上って

アラパアン ルスイ ネ ヤ  
 arpa=an rusuy ne ya  
 行く(私) したい だ か

行きたいのか

アエラミシカン ノ  
 a=eramiskari\_ no  
 (私)をわからない で

自分でもわからずに

パシ カネ テレケ カネ アン コロ  
 pas kane terke kane an kor  
 走り ながら 跳ね ながら いる と

一目散に

45 イシカツ トウラシ アラパアン コロ オラ  
 Iskar\_ turasi arpa=an kor ora  
 石狩川 を遡って 行く(私) ながら こんど

石狩川の川上に向かって

アエヤイコパシテ コロ  
 a=eyaykopaste kor  
 (私)自分を走らせる ながら

走って行って

エマカアシ テク アン コロ オラ  
 emakaas tek an kor ora  
 立ち止まる さっと する と こんど

ちょっと一休みしようとするど

スイ ア… シイエトコ ワ  
 suy a... siyetoko wa  
 また 自分の前 から

また前のほうから

アイコシエタイエ ヘネ キ ペコロ  
 a=i=kosietaye hene ki pekor  
 (人が私を)引っ張り でも する ように

引っ寄せられるように

50 ヤイヌアン ワ オラノ  
 yaynu=an wa orano  
 思う(私) して こんど

思っ

ペットウラシ アラパアン ヒネ  
 petturasi arpa=an hine  
 川を遡って 行く(私) して

川上に行って

ペテトク タ アラパアン イネ  
 petetok ta arpa=an \_hine  
 川の源流 に 行く(私) して

川の源流まで行きました。

- インカラン ルウエ ネ アクス  
**inkar=an ruwe ne akusu**  
 見る(私) こと だったところ  
 見ると
- シポロ ヌプリ アニネ  
**siporo nupuri an\_hine**  
 とても大きい 山 あっ て  
 大きな山があって
- 55 ネ ヌプリ チャラピリピル<sup>5</sup>  
**ne nupuri carpirpiru**  
 その 山 すべりやすい  
 ツルツルすべりやすい
- アトウサ ヌプリ<sup>6</sup> アシ ワ アン。  
**atusa nupuri as wa an.**  
 はだかの 山 立っ て いる  
 はげ山がそびえています。
- ヌプリ カ タ  
**nupuri ka ta**  
 山 の上 に  
 山の上に
- ポロ スンク アシ ワ アン シリ  
**poro sunku as wa an siri**  
 大きな エゾマツ 立っ て いる 様子  
 大きなエゾマツが立っているのが
- シエトクン アヌカラ ペ オラノ  
**sietok un a=nukar pe orano**  
 自分の前 に (私)見る もの こんど  
 見えるのですが
- 60 ネ スンク トモ ウンノ  
**ne sunku tomo unno**  
 その エゾマツ に向かっ て  
 そのエゾマツのほうに
- アラパアン ルスイ ヤツカ オラ  
**arpa=an rusuy yakka ora**  
 行く(私) したい しても こんど  
 行こうにも
- エネ アン チャラピリピル ヌプリ  
**ene an carpirpiru nupuri**  
 こんな すべりやすい 山  
 そんなツルツルの山に
- マカナク イキアン ワ アトウラシ プ アン  
**makanak iki=an wa a=turasi p an**  
 どのように する(私) して (私)登る もの か  
 どうやって登れるものか
- セコロ ヤイヌアン ヒケ カ  
**sekor yaynu=an hike ka**  
 と 思う(私) して も  
 と思いましたが
- 65 ネン ネ ヤツカ ネ ヌプリ  
**nen ne yakka ne nupuri**  
 どう で も その 山  
 何とかしてその山を

5 意味未詳。チャラピリピル car-pir-piru [(すべることを表す擬態)・pir-piru ~を拭く(重複形)]で、ツルツルすべることか。次行にアトウサ ヌプリ atusa nupuri とあるので、泥ですべるのではなく、火山灰に足をとられるということだろう。

6 アトウサ ヌプリ atusa nupuri (裸・山)。溶岩や硫黄に覆われた火山を云う。[知里真志保『地名アイヌ語小辞典』]

トゥラシ アラパアン。

turasi arpa=an.

登って 行く(私)

登って行きました。

アシコエタイェ プ カ イサム…

a=sikoetaye p ka isam…

(私)自分を引っ張る もの も ない

つかまるものもない

アエヤイコユプ プ カ ネプ カ イサム

a=eyaykoyupu p ka nep ka isam

(私)自分をしばる もの も 何 も ない

自分を固定するものも何も無い

チャラピリピル ヌプリ ネ コロカ オラ

carpirpiru nupuri ne korka ora

すべりやすい 山 だ けれど こんど

はげ山なのですが

70 ヘメス エトコ アオイキ イネ

hemesu etoko a=oyki \_hine

登る 準備 (私)し て

登る準備をして

ヘメスアン ルウエ ネ アクス オラノ

hemesu=an ruwe ne akusu orano

登る(私) こと だっ たところ こんど

登って行きました。

イキアン アイネ ヌプリ カ タ

iki=an ayne nupuri ka ta

する(私) したあげく 山 の上 に

やがて山の上に

ヘメスアン ルウエ ネ ヒネ オラ

hemesu=an ruwe ne hine ora

登る(私) こと であっ て こんど

登ると

ネ スンク シポロ スンク

ne sunku siporo sunku

その エゾマツ 本当に大きい エゾマツ

エゾマツの大木が

75 アシ ワ アン ヒ クス

as wa an hi kusu

立っ て いる ので

立っていたので

ネ スンク サマ タ アラパアニネ

ne sunku sama ta arpa=an \_hine

その エゾマツ のそば に 行く(私) して

そばまで行って

スンク オカリ アプカサン ヒネ…

sunku okari apkas=an hine…

エゾマツ のまわりを 歩く(私) して

まわりを歩いて

ルウエ ネ アクス

ruwe ne akusu

こと だっ たところ

みると

- スルク アエポキヘポキキ<sup>7</sup>  
 sunku a=epokihpokiki  
 エゾマツ (私)頭を下げる
- 80 アエコモムセ カネ アン  
 a=ekomomse kane an  
 (私)曲がっ ている
- スルク ニタイ… スルク チヨロポク タ  
 sunku nitay... sunku corpok ta  
 エゾマツ 林 エゾマツ の下 に
- パン スプヤ アツ コロ アン シリ  
 pan supuya at kor an siri  
 薄い 煙 立っ て いる 様子
- アヌカラ ヒ クス オラ  
 a=nukar hi kusu ora  
 (私)見る ので こんど
- ニ オポソ ネ コロカ  
 ni oposo ne korka  
 木 を通して だ けれど
- 85 アヌカラ ルウエ ネ アクス  
 a=nukar ruwe ne akusu  
 (私)を見る こと だっ たところ
- イウオロ オツ タ アン ワ ネ ヤ  
 iwor or\_ ta an wa ne ya  
 狩り場 の所 に い て だ か
- イウオロ コイポカシ<sup>8</sup> ワ ネ ヤ  
 iwor koipokas wa ne ya  
 狩り場 でみにくくなっ て だ か
- エウオンネ カ ソモ キ プ ネ クス  
 ewonne ka somo ki p ne kusu  
 顔を洗い も しない もの だ から
- エクロク ワ オケレ  
 ekurok wa okere  
 黒くなっ て しまう
- 90 イウオロコポカシ オツカヨ  
 iworkopokas okayo  
 狩り場でみにくくなる 男性
- タンパク エパクパクセ<sup>9</sup> コロ アン シリ  
 tampaku epakpakse kor an siri  
 たばこ をふかし て いる 様子

エゾマツの枝がたれ下がって

曲がっています。

エゾマツの下に

薄く煙が上がっているのが

見えたので

木の葉を透かして

見ると

長い間山にいて

見苦しくなったのか

顔も洗っていないものだから

垢で真っ黒くなった

見苦しい男が

たばこを吸っているのが

7 未詳。エポキヘポキキ [e-poki-hepokiki その頭・下に・頭を下げて] で自動詞かと思われるが、人称接辞はア a= が接頭して他動詞の形となっている。

8 イウオロ コ イポカシ iwor ko ipokas 「狩り場・で・みにくくなる」

9 未詳。

アヌカラ ヒ クス オラ  
 a=nukar hi kusu ora  
 (私)を見る ので こんど

見えたので

ネ スンク オカリ アプカシアプカシアン コロ  
 ne sunku okari apkas'apkas=an kor  
 その エゾマツ を回って 歩きに歩く(私) ながら

エゾマツのまわりを歩き回りながら

ヤイコイタカン ハウエ エネ アニ。  
 yaykoitak=an hawe ene an\_hi.  
 自分で話す(私) こと こうだった

このように言いました。

95 “ネプ カムイ オリワク ウシ ネ ヤ  
 “nep kamuy oriwak usi ne ya  
 何 神 が住む する所 だ か

「何の神がおいでになる場所かは

エラミシカリ コロカ  
 eramiskari korka  
 をわからない けれど

わかりませんが

フチアペ カムイ エカシ<sup>10</sup> シエブンキネレ ワ  
 huciape kamuy ekasi siepunkinere wa  
 火の 神 おじいさん に自分を守ってもらっ て

火の神様、神の老紳士に守っていただいて

クス… アン ヒ ネ ナンコロ クス  
 kusu... an hi ne nankor kusu  
 ので いる の だ ろう から

いるのでしょうから

アフナン ヤク ウェン ペ ネ ルウエ ネ ヤ?  
 ahun=an yak wen pe ne ruwe ne ya?  
 入る(私) と 悪い もの な の です か

入っては駄目でしょうか」

100 セコロ ハウエアナン ルウエ ネ アクス  
 sekor hawean=an ruwe ne akusu  
 と 言う(私) こと だっ たところ

と言うと

ネ チセ オンナイ ウン オツカヨ  
 ne cise onnay un okkayo  
 その 家 の中 にいる 男性

その家の中の男は

イタク ハウ アニ。  
 itak haw an\_hi.  
 話す 声 こうだった

こう言いました。

“ネウン ニシパ ネ ヤ  
 “neun nispa ne ya  
 どの 旦那さん だ か

「どこの旦那さんか

アエラミシカリ コロカ  
 a=eramiskari korka  
 (私)わからない けれど

わかりませんが

10 火の神はフチ huci (老婦人) として描かれることが多いが、ここではエカシ ekasi (老紳士) と表現されている。

- 105 アフン ワ イコレ ヤクン  
 ahun wa i=kore yakun  
 入っ て (私に)くれる ならば  
 お入りくださったならば
- アコロ ヤヨペパカ アイェ クス ネ ナ”  
 a=kor yayopepka a=ye kusu ne na”  
 (私)の 自分の話 (私)言い ます よ  
 私の話をしていしましょう”
- セコロ ネ チセ オンナイ ウン ハワシ イ クス  
 sekor ne cise onnay un hawas \_hi kusu  
 と その 家 の中 で 言う ので  
 と、その家の中で言うので
- オラ アフナン ルウエ ネ アクス  
 ora ahun=an ruwe ne akusu  
 こんど 入る(私) の だっ たところ  
 入って行くと
- ネ オッカヨ タンパク ク コロ アン ヒネ  
 ne okkayo tampaku ku kor an hine  
 その 男性 たばこ を吸っ て い て  
 その男はたばこを吸っていて
- 110 イエランカラブ<sup>11</sup> ヒ クス  
 i=erankarap hi kusu  
 (私に)あいさつをする ので  
 私にあいさつをするので
- アエランカラブ カ キ ヒネ オラ  
 a=erankarap ka ki hine ora  
 (私)あいさつする も し て こんど  
 私もあいさつを返しました。そして
- “ヒナク ワ エク ペ ネ ルウエ ネ ヤ?”  
 “hinak wa ek pe ne ruwe ne ya?”  
 どこ から 来る もの な の ですか  
 「どこから来たのですか？」
- アコウウエペケンヌ アクス  
 a=kouwepekennu akusu  
 (私)尋ね たところ  
 と私が尋ねたところ
- オホンノ イタク カ ソモ キ ノ アン ワ ネ ヤ  
 ohonno itak ka somo ki no an wa ne ya  
 長い間 話をする も し ない で い て だ か  
 長い間しゃべらずにいたのかも
- 115 アエラミシカリ コロカ  
 a=eramiskari korka  
 (私)わからない けれど  
 知れませんが
- イタク カ エランペウテク ペコロ ペ… ヒネ  
 itak ka erampewtek pekor pe... hine  
 言葉 も わからない ような もの そして  
 言葉もわからないみたいに
- ネプ カ イェ カ ソモ キ ワ  
 nep ka ye ka somo ki wa  
 何 も 言い も し ない で  
 何も言わないので

11 家を訪れた時などに行われる正式なあいさつ。オンカミ onkami という拝礼の所作で行われる。

アコエランペウテク ルウエ ネ  
 a=koerampewtek ruwe ne  
 (私)わからない こと だ

私もなすすべがありません。

コロ タンパク ク コロ アン ヒ クス オラ  
 kor tampaku ku kor an hi kusu ora  
 自分の たばこ を吸って いる ので こんど

男は自分のたばこを吸っています。

120 アシヌマ カ タンパク ク ワ  
 asinuma ka tampaku ku wa  
 私 も たばこ を吸って

私もたばこを吸う

アキ プ ネ クス  
 a=ki p ne kusu  
 (私)するもの だ から

ので

タンパク ク トウ パ レ パ<sup>12</sup>  
 tampaku ku tu pa re pa  
 たばこ を吸う 2 服 3 服

たばこを2服3服

タンパク アク カ キ ヒネ オラ  
 tampaku a=ku ka ki hine ora  
 たばこ (私)吸い も し て こんど

吸いました。

アコロ イカヨブ オロ ワ  
 a=kor ikayop oro wa  
 (私)の 矢筒 の所 から

そして私の矢筒から

125 チ アエプ カ アセ プ ネ クス  
 ci aep ka a=se p ne kusu  
 焼く 食べ物 も (私)背負う もの だ から

調理済みの食物を持って来ていたので

チ アエプ カ アサンケ ヒネ  
 ci aep ka a=sanke hine  
 焼く 食べ物 も (私)を出し て

それを出して

ネ ポンポン アペアリ アペ ネ プ ネ クス  
 ne ponpon aperi ape ne p ne kusu  
 その 小さい小さい 火を焚く 火 だ もの だ から

とても小さく火が焚かれていたので

ネ アペ オルン ネ タンパク カ  
 ne ape or un ne tampaku ka  
 その 火 の所に その たばこ も

その火にたばこも

アエプ カ アチャラパ コロ… コロ  
 aep ka a=carpa kor… kor  
 食べ物 も (私)まき ながら ながら

食物もまきながら<sup>13</sup>

130 “ スンク トノ マツ…  
 “ sunku tono mat…  
 エゾマツ 神 妻

「エゾマツの神の奥方…

12 パ pa はたばこを1服するの「服」。シネ パ sine pa 「一服」で使われ、「二服三服」には使われない「田」とされるが、ここではトウ パ レ パ tu pa re pa 「二服三服」の用例となっている。

13 供物を捧げ、火の神を介してエゾマツの女神に対して祈ることを表している。

スンク カムイ スンク トノ マツ  
 sunku kamuy sunku tono mat  
 エゾマツ 神 エゾマツ 神 妻

エゾマツの神、エゾマツの神の奥方さま

マツ カトウ ネ ヒネ  
 mak katu ne hine  
 どう わけ であって

一体どうして

エネ アイヌ オツカイポ  
 ene aynu okkaypo  
 このように 人間 若い男性

このように人間の男性に

エシコヤントネレ ワ エアン ルウエ ネ ヤ  
 e=sikoyantonere wa e=an ruwe ne ya  
 (あなた)宿を貸し て (あなた)いる の だ か

あなたが宿を貸しておいでなのか

135 アエラミシカリ ワ  
 a=eramiskari wa  
 (私)わからず に

わからないのです。

オラ アコウウエペケンヌ ヤツカ  
 ora a=kouwepekennu yakka  
 こんど (私)尋ね ても

私が尋ねても

ネプ カ ソモ イエ ワ  
 nep ka somo ye wa  
 何 も 言わない で

その人は何も言わないので

エネ ネ ヒ カ  
 ene ne hi ka  
 どうする 方法 も

どうしていいか

アエランペウテク ルウエ ネ クス  
 a=erampewtek ruwe ne kusu  
 (私)わからない こと だ から

わからないのです。

140 ウェンタラプ アニ ヘネ スンク トノ マツ  
 wentarap ani hene sunku tono mat  
 夢 で でも エゾマツ 神 妻

夢にでもエゾマツの神の奥方さまが

イエパカシヌ ワ イコレ ヤクネ  
 i=epakasnu wa i=kore yakne  
 (私に)教え て (私に)くれる ならば

私に教えてくださったならば

ネウン カ イキアン ワ  
 neun ka iki=an wa  
 どう も する(私) して

何とかして

カシ アオピウキ<sup>14</sup> クス ネ ナ”  
 kasi a=opiwki kusu ne na”  
 (私)救助し ます よ

手助けをするつもりです」

14 カシオピウキ kasiopiwki で「～を救助する」だが、人称接辞はカシ アオピウキ kasi a=opiwki のような形になることが多い。

- セコロ ハウエアナン コロ  
**sekor hawean=an kor**  
 と 言う(私) ながら  
 と言って
- 145 ネ ポンポン アペ オルン  
**ne ponpon ape or un**  
 その 小さい小さい 火 の所 に  
 小さく焚かれた火に
- イチヤラパアン カ キ ヒネ オラ エアシリ  
**icarpa=an ka ki hine ora easir**  
 食べ物をまく(私) も し て こんど 初めて  
 食物をまいて、そうしてから
- ネ オッカヨ エウン ポロ カム ノツ  
**ne okkayo eun poro kam not**  
 その 男性 に 大きい 肉 かたまり  
 男に(調理済みの)大きな肉のかたまりを
- アコレ ルウエ ネ アクス  
**a=kore ruwe ne akusu**  
 (私)与える こと だっ たところ  
 渡すと
- オンカミ ア オンカミ ア コロ  
**onkami a onkami a kor**  
 何度も拝礼をし ながら  
 男は何度も拝礼して
- 150 ウク ヒネ エ コロ アン。  
**uk hine e kor an.**  
 取っ て 食べ て いる  
 受け取って食べました。
- オラ ヤイカタ カ  
**ora yaykata ka**  
 こんど 自分 も  
 そして私も
- イペルスイアン ヒ クス  
**iperusuy=an hi kusu**  
 お腹が空く(私) ので  
 お腹が空いたので
- イペアン カ キ ヒネ オラ  
**ipe=an ka ki hine ora**  
 食事する(私) も し て こんど  
 食事をして
- ヘアヌアン ルウエ ネ アクス  
**heanu=an ruwe ne akusu**  
 頭を置く(私) こと だっ たところ  
 横になって眠りにつくと
- 155 ウェンタラプアン ヘ… ネ アクス  
**wentarap=an he... ne akusu**  
 夢を見る(私) か だっ たところ  
 夢を見ました。
- クンネ コソンテ<sup>(15)</sup> ウトムチウレ  
**kunne kosonte utomciwre**  
 黒い 上等な着物 を身につける  
 黒い着物をまとい

15 日本語「小袖」から来るといわれる絹などの素材できている上等な着物の呼び名。神なので高貴な着物を着ているという意味でそのように語られるのであろう。赤い着物は火の神など、その神を象徴するような色の着物を着ている例もあるが、この話のように特に実際の色に関連づけられなくても力の強い神が黒い装束を身にまとっている例もある。黒い色が不吉という感覚は特に見られず、むしろ高貴な神であるという場合が多い。

クンネ チパヌブ エパウヌ カネ アン  
 kunne cipanup epaunu kane an  
 黒い かぶり物 を頭につけ て いる

黒いかぶり物をした

カムイ メノコ ニ オペシ ラン ヒネ オラ  
 kamuy menoko ni opes ran hine ora  
 神 女性 木 に沿って 下っ て こんど

女神が木を伝って下りて来て

エネ ハウエアニ。  
 ene hawean\_hi.  
 このように言った

このように言いました。

160 “アシヌマ アナクネ スンク トノ  
 “asinuma anakne sunku tono  
 私 は エゾマツ 神

「私はエゾマツの神<sup>16</sup>」

アネ ルウエ ネ。 オラ マク…  
 a=ne ruwe ne. ora mak…  
 (私)な の です こんど どう

なのです

ルウエ ネ ア プ… アイ… スンク コスイエ…  
 ruwe ne a p... a=i... sunku kosuye…  
 の だった が エゾマツ が揺れる

が

アイコスイエスイエ ネ ヤ  
 a=i=kosuyesuye ne ya  
 (人が私を)揺らす だ か

何が私を揺するのだから

タネ タネ アイシンリッコホクシテ パクノ  
 tane tane a=i=sinritkohokuste pakno  
 今にも (人が私を)根こそぎ引っくり返す ほど

もう少しで根こそぎ倒れてしまうほど

165 アイコスイエスイエ アイネ  
 a=i=kosuyesuye ayne  
 (人が私を)揺らし たあげく

揺すられました。

エウン モサン ルウエ ネ ヒネ オラ  
 eun mos=an ruwe ne hine ora  
 で 目覚める(私) の です そして こんど

そこで目覚めて

マク カトウ ネ ヒネ エネ ネ ヒ アン  
 mak katu ne hine ene ne hi an  
 どんな わけ であって このような ことなのだろう

一体どうしたのだろうか

セコロ ヤイヌアン ヒ クス  
 sekor yaynu=an hi kusu  
 と 思う(私) ので

と違って

インカラン ルウエ ネ アクス  
 inkar=an ruwe ne akusu  
 見る(私) こと であつ たところ

見ると

16 文脈からしてスンク トノ マツ sunku tono mat と言うべきところ。

- 170 アコロ ニ キタイ タ ケソラブ エキネ  
 a=kor ni kitay ta kesorap ek\_hine  
 (私)の 木 てっぺん に ケソラブ 来 て  
 レウ ヒネ アン ヒネ アアン ヒ クス  
 rew hine an hine aan hi kusu  
 とまっ て い て だっ た から  
 マツ カトウ ネ ヒネ エネ アン ルウエ ネ ヤ  
 mak katu ne hine ene an ruwe ne ya  
 どんな わけ であっ て こんな こと だ か  
 アエランペウテク クス  
 a=erampewtek kusu  
 (私)わからない ので  
 インカラン ルウエ ネ アクス  
 inkar=an ruwe ne akusu  
 見る(私) こと だっ たところ
- 175 イシカラ プトウ ウン ニシパ ポホ  
 Iskar putu un nispa poho  
 石狩川 の河口 の 長者 の息子  
 ネ ケソラブ カトウカラ ヒネ オラ  
 ne kesorap katukar hine ora  
 その ケソラブ だまし て こんど  
 エキムネ に… オラノ  
 ekimne に ... orano  
 山獺に行く こんど  
 シットウライヌレ ワ  
 sitturaynure wa  
 道に迷わせる て  
 カトウカラ ネ ヤ  
 katukar ne ya  
 だます だ か
- 180 シカカムレ<sup>(18)</sup> ワ オラノ  
 sikakamure wa orano  
 自分の上にかぶさっ て こんど  
 シットウライヌ アイネ  
 sitturaynu ayne  
 道に迷う したあげく  
 ネ アコロ スンク チョロポク タ  
 ne a=kor sunku corpok ta  
 その (私)の エゾマツ の下 に

私の木のでっぺんにケソラブ鳥<sup>(17)</sup>が来て

とまっていたのでした。

一体どういいうわけか

わからずに

(神通力で)見ると

石狩川の河口の長者の息子が

そのケソラブ鳥にだまされて

山に狩りに行って

道に迷わされ

だまされ

上にかぶさられて

行方不明になっていました。そして

このエゾマツの下に

17 空想上の巨大な鳥の名。ケソラブ kes-o-rap 「斑点・がついた・羽」。口承文芸中で人を助ける善神として、また逆に人に災難をもたらし悪神として描かれる両面がある。この物語の場合は後者である。

18 シカカムレ si-ka-kamu-re (自分・の上・覆う・させる) 文字通りケソラブ鳥が覆いかぶさったことをさしている。

- ルラ ワ オラ  
rura wa ora  
運ん で こんど
- 運ばれて来て
- テ タ アヌ ワ ネ ヤクン  
te ta anu wa ne yakun  
ここ に 置い て である ならば
- 「ここに男を放っておいて
- 185 イペ カ ソモ キ ヤクン  
ipe ka somo ki yakun  
食事 も しない ならば
- 食事もしなかったなら
- ケメコツ ヘネ キ ヤクン オラ エアシリ  
kemekot hene ki yakun ora easir  
飢え死にする でも する ならば こんど 初めて
- 飢え死にしようだろう。そうなったら
- ピリカ ラマチ ウク クナク ラム ワ  
pirka ramaci uk kunak ramuwa  
良い 魂 奪う と 思っ て
- 男のきれいな魂を奪ってやろう」と思って
- テ タ ネ ルラ ワ アン ルウエ ネ ヒ  
te ta ne rura wa an ruwe ne hi  
ここ に 運ん で いる こと である こと
- ここに運んで来たことが
- アエラムアン ワ オラ  
a=eramuan wa ora  
(私)わかる して こんど
- わかりました。
- 190 ネノ アアヌ ヒ カ エアイカツ ペ ネ クス  
nenno a=anu hi ka eaykap pe ne kusu  
そのまま(私)置く こと も できない ものだ から
- 私は放っておくこともできないので
- オラノ ケシ ト アン コロ  
orano kes to an kor  
それから 毎日
- 毎日
- アエプ アコイヤニ ワ アイペレ ネ ヤ  
aep a=koyyani wa a=ipere ne ya  
食べ物 (私)運ん で (私)食べさせる だ か
- 食物を運んで食べさせていました。
- ア… スンク アココモムセ ワ  
a... sunku a=kokomomse wa  
エゾマツ (私)曲げ て
- エゾマツの枝を曲げて
- フプチャ チセ<sup>19</sup> アカラ ワ  
hupca cise a=kar wa  
針葉樹の枝 家 (私)作っ て
- 枝で家を作って
- 195 オロ タ オツカイポ アアヌ ワ  
oro ta okkaypo a=anu wa  
そこ に 若い男性 (私)置い て
- そこに男性を置いて

19 フプチャチセ hup ca cise トドマツ・枝・家。常緑の針葉樹の枝を屋根にしてつくる狩り小屋が原意。本編のようにエゾマツの場合にもこの呼称が適用されるらしい。スンクチャチセ sunku ca cise という形は未見。

アエプンキネ ワ アナン ルウエ ネ  
 a=epunkine wa an=an ruwe ne  
 (私)守っ て いる(私) の です

守っていたのです。

コロカ オラ ネイ パクノ  
 korka ora ney pakno  
 けれど こんど いつ までも

しかし、いつまで

ネノ アン ヤッカ オラ  
 neno an yakka ora  
 そのように あっ ても こんど

こうしていても

エネ ネ ヒ カ イサム ヒ クス  
 ene ne hi ka isam hi kusu  
 どう する 仕方 も ない ので

どうしようもないので

200 ネン カ アオトウヤシ クル<sup>20</sup>  
 nen ka a=otuyasi kur  
 誰 も (私)見込んで頼む 人

誰か頼れる人を

アパ ヤクン セコロ ヤイヌアン ワ  
 a=pa yakun sekor yaynu=an wa  
 (私)見つける ならば と 思う(私) して

見つけなければと思って

ペテピッタ<sup>21</sup> インカラアン ヤッカ  
 pet epitta inkar=an yakka  
 川 全て 見る(私) しても

川筋を全部見渡しましたが

アオトウヤシ クル アパ カ ソモ キ ノ  
 a=otuyasi kur a=pa ka somo ki no  
 (私)見込んで頼む 人 (私)見つけ も しない で

なかなか見つからずに

アナン ラポッケ エアニ ヘネ エアシリ  
 an=an rapokke eani hene easir  
 いる(私) そのうちに あなた でも それこそ

いるうちに、あなたならば

205 セコロ ヤイヌアン ワ… クス  
 sekor yaynu=an wa… kusu  
 と 思う(私) ので

と思ったので

アエヤイヌレ アニ  
 a=e=yaynure ani  
 (私がお前に)思わせる で

私があなたに暗示をかけて

アエシコエクテ ワ  
 a=e=sikoekte wa  
 (私がお前に)来させる して

ここに呼び寄せたのです。

エエク ワ エアン ルウエ ネ ア プ エネ…  
 e=ek wa e=an ruwe ne a p ene…  
 (お前)来 て (お前)いる の だった が

あなたはここに来ると

20 オトウワシ otuwasi この人ならばと頼りにする [久 644]、オトウワシ otuwasi…に白羽の矢を立てる (?)…を見込んで頼りにする [田]

21 石狩川の川筋。

- ソモカ エネ エイキ クナク アラム ア プ  
 somokaene e=iki kunak a=ramu a p  
 まさか こう (お前)すると (私)思っ た が  
 思いも寄らないことに
- 210 エネ ウサ ピリカ アエプ タンパク  
 ene usa pirka aep tampaku  
 このように いろいろ良い 食べ物 たばこ  
 このような上等な食物やたばこを
- イコイチヤラパ ワ  
 i=koicarpa wa  
 (私に)まい て  
 まいてくれて
- エアラキンネ エネ アエイコイトウパ  
 earkinne ene a=eykoytupa  
 本当に このように (私)うらやむ  
 本当に欲しがっていた
- タンパク イコイチヤラパ プ ネ クス  
 tampaku i=koicarpa p ne kusu  
 たばこ (私に)まく ものだ から  
 たばこもまいてくれたので
- タンパク クルカ アコヘマチチ<sup>22</sup> コロ  
 tampaku kurka a=kohemacici kor  
 たばこ の上 (私)背を伸ばし ながら  
 そのことに姿勢を正して
- 215 アエコヤイライケ ルウエ ネ  
 a=e=koyayrayke ruwe ne  
 (私がお前に)感謝する の です  
 感謝していたのです。
- コロカ タネ タネ スイ  
 korka tane tane suy  
 けれど もう もう また  
 しかし近いうちにまた
- ネア ケソラブ ラン ナンコロ クス  
 nea kesorap ran nankor kusu  
 あの ケソラブ 下りる だろう から  
 あのケソラブ鳥が降りて来るでしょうから
- ラン ワ ネ ヤクン オラ  
 ran wa ne yakun ora  
 下っ て だっ たら こんど  
 来たら
- ネン カ エイキ ワ  
 nen ka e=iki wa  
 どうに か (お前)し て  
 あなたが何とかして
- 220 エエチヨツチャ ヘネ キ ヤク… キ ヒ アエ…  
 e=ecotca hene ki yak... ki hi a=e…  
 (お前)射る でも し たら すること (私)  
 弓矢でケソラブ鳥を射たなら
- アエプンキネ クス ネ ナ。  
 a=epunkine kusu ne na.  
 (私)守り ます よ  
 私があなたを守ります。

22 ヘマチチ hemachichi 背を伸ばす [久 255]。

オラ ネン ポカ エイキ ワ  
 ora nen poka e=iki wa  
 こんど 何 とか (お前)し て

そしてあなたが何とかして

ネ ケソラブ エチヨツチャ ヘネ キ ヤクン  
 ne kesorap e=cotca hene ki yakun  
 その ケソラブ (お前)射る でも する なら

矢を当てたなら

オラノ ポ ヘネ スルク カラ ヘネ キ ヤクン  
 orano po hene surku kar hene ki yakun  
 こんど なおさら 毒 当たる でも する ならば

さらに矢に毒を塗ってあったりしたら

225 ポ ヘネ ホチカチカ ヘネ キ ヤクン  
 po hene hocikacika hene ki yakun  
 なおさら 足をばたつかせ でも し たら

苦しみのたうちまわるでしょう。そうしたら

タン スンク エチコホクシテ  
 tan sunku eci=kohokuste  
 この エゾマツ (お前達)の上に倒す

このエゾマツはあなたたちのほうへ倒れる

ナンコロ クス ネン ポカ  
 nankor kusu nen poka  
 だろう から 何 とか

でしょうから、何とか

カムイ シセレマクシテ ヒ エイエ アイネ  
 kamuy sisermakuste hi e=ye ayne  
 神 守ってもらう こと (お前)言っ たあげく

神が守ってくれるように祈りなさい。

シリコペケレ ヤクン オラ  
 sirkopeker yakun ora  
 夜が明ける ならば こんど

やがて夜が明けたなら

230 タン オツカイポ エトウラ ワ エサン ワ  
 tan okaypo e=tura wa e=san wa  
 この 若い男 (お前)連れ て (お前)下って

あなたはこの男を連れて山を下りて

オナハ エウン エトウラ ワ エサン ワ  
 onaha eun e=tura wa e=san wa  
 父 に (お前)連れ て (お前)下って

父上のところに連れてお行きなさい。

ネ ヤクン オラ オナハ…<sup>23</sup>  
 ne yakun ora onaha…  
 である ならば そして 父

そうしたなら

ネン ポカ エイキパ ワ オナハ キリサマ  
 nen poka e=ikipa wa onaha kirsama  
 何 とか (お前)し て 父 のそば

何とかして父上のおそばに

ヘコテ カムイ キリサマハ<sup>24</sup>  
 hekote kamuy kirsamaha  
 慕う 神 のそば

お慕いする神様のおそばに

23 ここで「はあ、まったくいえんな。はあ、一服するべ(テープを)止めて」と言って中断した後再開。

24 ヘコテ カムイ キリサマハ hekote kamuy kirsamaha (つき従う・神・のそば) = 自宅。

- 235 エコシレパレ ヤク ピリカ ナ”  
 e=kosirepare yak pirka na”  
 (お前)到着させる と いい よ  
 連れて行っておあげなさい」
- セコロ ネ スンク カムイ ハウエアン ヤク  
 sekor ne sunku kamuy hawean yak  
 と その エゾマツ 神 言う と  
 とエゾマツの神が言った
- アタカラ ルウエ ネ ヒネ オラ  
 a=takar ruwe ne hine ora  
 (私)夢に見る の です そして こんど  
 夢を見ました。
- イヨクンヌレアン カ キ コロ  
 iyokunnure=an ka ki kor  
 驚く(私) も し ながら  
 驚いて
- アナン ルウエ ネ ア プ  
 an=an ruwe ne a p  
 いる(私) の だっ た が  
 いると
- 240 ラポッケ ソンノ カ  
 rapokke sonno ka  
 そのうち 本当に  
 そのうちに本当に
- タネ アンノシキ エパ ノ  
 tane annoski epa no  
 もう 夜中 に至っ て  
 もう夜中になり
- ハウエ ヌ ネ アクス オラノ  
 hawe nu ne akusu orano  
 話 聞く だっ たところ それから  
 聞いていた通り
- ネア スンク アスイエスイエ  
 nea sunku a=suyesuye  
 その エゾマツ (私)揺らす  
 あのエゾマツがゆさゆさ揺さぶられて
- タネ タネ アオシンリッコメウケ ヘネ  
 tane tane a=osinritkomewke hene  
 もう もう (私)根をひっくり返す でも  
 今にも根こそぎひっくり返りそうな
- 245 キ フミ ネ ペコロ… ネ アイネ  
 ki humi ne pekor... ne ayne  
 する 音 である よう である そうするうち  
 音がしました。
- インカラアン ルウエ ネ アクス  
 inkar=an ruwe ne akusu  
 見る(私) こと だっ たところ  
 見ると
- ネア オツカイポ アナクネ  
 nea okkaypo anakne  
 その 若い男性 は  
 あの男が
- ネ スンク ニテケヘ  
 ne sunku nitekehe  
 その エゾマツ の枝  
 エゾマツの枝に

- コヨンピツネ ヒネ アン ヒ クス オラ  
koyonpitne hine an hi kusu ora  
にしがみつい て いる ので こんど  
しがみついているので
- 250 アブンノ ソイエネアニネ  
apunno soyene=an hine  
静かに 外に出る(私) して  
私はホツとして
- ソイ タ ソイネアン ル… ウサ  
soy ta soyne=an ru... usa  
外 に 外に出る(私) いろいろ  
外に出ると
- ホマン… ホマラ チュピポロ アン  
homan... homar cupipor an  
ほのかな 月明かり ある  
ほのかな月明りが
- ルウエ ネ ヒネ オラ アコ…  
ruwe ne hine ora a=ko…  
の であって こんど (私)  
さしていて
- ネ スンク アコノッタララ<sup>25</sup> ワ  
ne sunku a=konottarara wa  
その エゾマツ (私) 戻って  
そのエゾマツを戻って
- 255 インカラン ルウエ ネ アクス  
inkar=an ruwe ne akusu  
見る(私) の だっ たところ  
見上げると
- ニ キタイ タ チカプ ネ ヤクン…  
ni kitay ta cikap ne yakun…  
木 の上 に 鳥 だっ たら  
木のとっぺんに
- チカプ ネ ノイネ アン ペ ヘ  
cikap ne noyne an pe he  
鳥 である らしく ある の か  
鳥らしきものが
- エクロク ペ アン シリ イキ ヒ クス オラ  
ekurok pe an siri iki hi kusu ora  
黒い もの いる 様子 する だから こんど  
真っ黒いものがあります。そこで
- トウアイオアイ レアイ ア… アイ<sup>26</sup>  
tuay'oay reay a... ay  
特別な毒矢  
特別な毒矢
- 260 アサンケ ヒネ オラ ネ  
a=sanke hine ora ne  
(私)を出す して こんど その  
を出して

25 コノッタララ konottarara あごを突き出して(上)を見上げている [田]

26 以下トウアイオアイ tuay'oay として数回出て来る。萱野茂氏は「矢筒の魂、守り神の矢」、川上まつ子氏は「特別の毒矢」と説明している。

ピンネ アイ ク カ タ  
pinne ay ku ka ta  
雄の 矢 弓 の上 で

男の矢<sup>27</sup>を弓の上に置いて

アノンノイタケ カ キ ヒネ  
a=nonnoitak ka ki hine  
(私)祈る も し て

祈り

ピンネ ク カ タ アアヌ アクス  
pinne ku ka ta a=anu akusu  
雄の 弓 上 に (私)置い たところ

弓につがえたところ

ネ ク カ タ ウサ ネア アイ  
ne ku ka ta usa nea ay  
その 弓 上 に いろいろ その 矢

その矢は

265 テシケテシケ テレケテレケ<sup>28</sup>  
tesketeske terketerke  
反り返る 跳ねる

(弓の上で)反って跳ねてしまうので

ルウェ ネ ヒ クス オラ  
ruwe ne hi kusu ora  
こと だ から こんど

そこで

スイ ネ マツネ アイ  
suy ne matne ay  
また その 雌の 矢

次に女の矢に

アコノンノイタケ カ…  
a=kononnoitak ka…  
(私)に祈る も

祈って

“アラウエンカムイ アナクネ  
“arwenkamuy anakne  
悪い神 は

「悪い神は

270 タン トウアイオアイ アニ ヘネ ネ ヤク  
tan tuay'oay ani hene ne yak  
この 特別な毒矢 で でも であれば

この特別な毒矢を受けて

エアシリ アオシコニ プ  
easir a=osikoni p  
初めて (私)をとる もの

初めて倒せるもの

ネ ワクス… ネ ナ”  
ne wakusu...ne na”  
だ から です よ

なのだぞ”

セコロ ハウエアナン コロ  
sekor hawean=an kor  
と 言う(私) ながら

と言って

27 男の矢、女の矢は口承文芸中でみられる表現だが、実際にどのような違いがあるのかについては未詳。しかし男の矢は当たらず女の矢が当たるとするのが常である。

28 注1の伝承で川上まつ子さんはこの部分を「ku ka ta tesketeske だか terketerke kusu… (弓の上で跳ね上がり、反り返ったので…)」と語っているのでそれになった。男の矢では狙いが定まらなかったということだろう。

ネ アイ マツネ アイ アニ  
 ne ay matne ay ani  
 その 矢 女の 矢 で

その矢、女の矢で

275 ネ チカプ アチヨツチャ ルウエ ネ アクス  
 ne cikap a=cotca ruwe ne akusu  
 その 鳥 (私)射る の だっ たところ

その鳥を射たところ

アイ ウクヌ ワ ネ ノイネ  
 ay uknu wa ne noyne  
 矢 当たっ て である ようで

矢が当たったようで

ポンノ キリリセ ヘ キ ハウ アヌ ア プ オラ  
 ponno kirirse he ki haw a=nu a p ora  
 少し キーキー言う か する 声 (私)聞いた が こんど

キーキーと金切り声がかすかに聞こえて

ネ モイモイケ フム カ イサム  
 ne moymoyke hum ka isam  
 その 動く 音 も しない

動く音も

レウ フム カ イサム ルウエ ネ ヒネ オラ  
 rew hum ka isam ruwe ne hine ora  
 とまる 音 も しない の です そして こんど

とまる音もしなくなったのでした。

280 (アネピッタ ルウエ ネ ヒネ オラノ…)  
 (anepitta ruwe ne hine orano…)

アフナン ヒネ オラ  
 ahun=an hine ora  
 入る(私) して こんど

私は家に入り

アノミ カムイ カムイ キリサマ  
 a=nomi kamuy kamuy kirsama  
 (私)祭る 神 神 のそば

祭り神のもとへ

アエパウエテンケ コロ  
 a=epawetenke kor  
 (私)届け ながら

届くよう

アネピッタ カムイノミアン ネ ヤ  
 anepitta kamuynomi=an ne ya  
 夜中じゅう 神に祈る(私) だ か

夜通し神へ祈って

285 オラ イウオロコロカムイ ネ ヤ  
 ora iworkorkamuy ne ya  
 こんど 狩り場の神 だ か

狩場の神にも

アコノンノ… イノンノイタケアン コロ アナン  
 a=kononno... inonnoitak=an kor an=an  
 (私)祈る 祈る(私) ながら いる(私)

祈りました。

アイネ シリコペケレ アン アクス  
 ayne sirkopeker an akusu  
 やがて 夜明け になっ たところ

やがて夜が明けると

ネア オッカヨ… オッカイポ アナクネ nea okkayo... okkaypo anakne その 男性 若い男性 は	あの若い男が
モコロ ヒネ アン ヒ クス オラ mokor hine an hi kusu ora 眠っ て いる から こんど	眠っていたのを
290 アモソソ コロ a=mososo kor (私)を起こし ながら	起こして
“ホプニ ワ イペ ヤク オラ ペツペシアン ペ “hopuni wa ipe yak ora petpes=an pe 起き て 食事する と こんど 川を下る(私たち) もの	「起きて食事をしたら川を下って
ネ クス ネ ナ” ne kusu ne na” つもり だ よ	行きますよ」
セコロ ハウエアナン ルウエ ネ アクス オラ sekor hawean=an ruwe ne akusu ora と 言う(私) の だっ たところ こんど	と言ったところ
ネ オッカヨ ホプニ ヒネ オラ ne okkayo hopuni hine ora その 男性 起き て こんど	その男は起きて
295 エネ ハウエアニ。 ene hawean _hi. このように言った	このように言いました。
“ネウン オッカヨ ネ ルウエ ネ ヤ “neun okkayo ne ruwe ne ya どんな 男性 な の だ か	「どこのどなたか
アエラミシカリ ルウエ ネ コロカ a=eramiskari ruwe ne korka (私)わからない の だ けれど	わかりませんが
エネ アオナハ オモトホ ene a=onaha omotoho このように (私の)父 の出自	このように父の出自を
イコウウエペケンヌ ヤッカ i=kouwepekennu yakka (私に)尋ねて も	尋ねられても
300 アイエ カ アコエランペウテク ワ a=ye ka a=koerampewtek wa (私)言う も (私)わからない で	言うこともわからずに
ネプ カ ソモ… nep ka somo… 何 も ない	何も

アイェ カ ソモ キ ア コロカ…  
a=ye ka somoki a korka…  
(私)言い も しなかつ た けれど

言いません

ネン カ… ルウエ ネ”  
nen ka… ruwe ne”  
誰 も こと である

でした」

セコロ ハウエアン コロ  
sekor hawean kor  
と 言い ながら

と言いました。そして

305 “アオナハ アナクネ イシカラ エトコホ<sup>(29)</sup>  
“a=onaha anakne Iskar etokoho  
(私の)父 は 石狩川 の上流

「父は石狩川の河口に

アオナハ アン ネ… ヒネ…ネ…  
a=onaha an ne… hine… ne…  
(私の)父 い て

いて

アナン ペ ネ アシンワ<sup>(30)</sup>  
an=an pe ne asinwa  
暮らす(私) もの である ?

私と暮らしていました。

シネ イポネ プ アネ プ ネ クス  
sine ipone p a=ne p ne kusu  
ひとり 息子であるもの (私)である の だ から

私はひとり息子だったので

アオナ ウタラ  
a=ona utar  
(私の)父 たち

父たちに

310 ネプ アエシリキラプテ カ ソモ キ ノ  
nep a=esirkirapte ka somo ki no  
何 (私)苦労し も しな い で

苦労をかけずに

アリキキアン ペ ネ クス  
arikiki=an pe ne kusu  
働き者である(私) もの だ から

私は働き者なので

シリキラプテ アキ カ ソモ キ ノ  
sirkirapte a=ki ka somo ki no  
苦労をさせる (私)し も しな い で

苦労をかけずに

アナン ペ ネ ア プ  
an=an pe ne a p  
いる(私) もの だ っ た が

暮らしていたのですが

シネア<sup>(31)</sup>… エキムネアン アクス オラノ  
sinea… ekimne=an akusu orano  
ある時 山獵に行く(私) したところ こんど

ある時、山へ狩りに行くと

29 プトゥフ putuhu 「河口」の言い間違い。

30 未詳。

31 シネ アン ト タ sine an to ta 「ある日」、またはシネ アン タ sine an ta 「ある時」の言いさしか。

- 315 マク ネ ワ ネ ヤ  
mak ne wa ne ya  
どう し て だ か  
どういうわけか
- イロンネ レタラ ウララ イカカム<sup>B2</sup> ワ  
ironne retar urar i=kakamu wa  
厚く 白い 霧 (私を)かぶさっ て  
濃く白い霧が私をおおって
- オラノ クンネ ヘネ トカプ ヘネ  
orano kunne hene tokap hene  
それから 夜 でも 昼 でも  
それからは夜も昼も
- アプカサナ アナ  
apkas=an a an a  
歩く(私) さんざんした  
歩いて歩いて
- ウサ オカイ ペ アエオコク コロ  
usa okay pe a=eokok kor  
いろいろある もの(私)つまずき ながら  
いろいろなものにつまずいて
- 320 オマカテッテレケアン コロ  
omakatetterke=an kor  
転ぶ(私) ながら  
転びながら
- アプカシアナ アナ アイネ  
apkas=an a an a ayne  
歩く(私) さんざんした あげく  
歩いて歩いてそのあげくに
- タン スンク アコシレパ ルウエ ネ  
tan sunku a=kosirepa ruwe ne  
この エゾマツ (私)着く の です  
このエゾマツにたどり着いたのです。
- ヒネ オラ  
hine ora  
そして こんど  
そして
- タネ イペルスイアン カ キ  
tane iperusuy=an ka ki  
もう お腹が空く(私) も する  
もう腹が空いて
- 325 シンキアン カ キ プ ネ クス  
sinki=an ka ki p ne kusu  
疲れる(私) も するものだ から  
疲れてもいたので
- タン スンク チョロポク タ オリパカン。  
tan sunku corpok ta oripak=an.  
この エゾマツ の下 で かしこまる(私)  
このエゾマツの下でかしこまっていた。
- イウオロコロカムイ  
'iworkorkamuy  
狩り場の神  
『狩場の神よ

32 注17のシカカムレ sikakamure を男の目線で見ただけの場合こう見えた、ということ。

アコオリパツコロ ネ コロカ  
 a=kooripakkor ne korka  
 (私)にかしこまる だ けれど

恐れ多いことですが

タネ エネ イキアニ カ イサム  
 tane ene iki=an\_hi ka isam  
 もう こう する(私) こと も ない

もうこうするほかない

330 ルウエ ネ クス  
 ruwe ne kusu  
 の だ から

のです。

カムイ イエランポキウエン ワ  
 kamuy i=erampokiwen wa  
 神 (私を)憐れん で

神様、私を憐れんで

シクヌアン ヤクン  
 siknu=an yakun  
 生きる(私) ならば

生かして下さったならば

シクヌアン。  
 siknu=an.  
 生きる(私)

生きられるのです。

オラ ライアン ヤクン  
 ora ray=an yakun  
 こんど 死ぬ(私) ならば

私が死んだら

335 イシカラ プトウフ ウン アオナハ  
 Iskar putuhu un a=onaha  
 石狩川 の河口 の (私の)父

石狩川の河口の父

レヘ アイェ ワ  
 rehe a=ye wa  
 の名前 (私)を言う して

の名を言いますので

アオナハ ノミ カムイ オロ ワノ  
 a=onaha nomi kamuy oro wano  
 (私の)父 祭る 神 の所 から

父が祭る神のもとへ

テ タ ネ イポネ プ ライ ルウエ ネ  
 te ta ne ipone p ray ruwe ne  
 ここ に その 息子である 者 死ぬ の です

ここで息子が死んでいます

セコロ アン ペ カムイ オロ ワ  
 sekor an pe kamuy oro wa  
 と いう こと 神 の所 から

ということを神様から

340 アスルコロ ワ イコレ ヤク ピリカ ナ  
 asurkor wa i=kore yak pirka na'  
 伝言し て (私)にくれ たら いい よ

伝えて下さい』

セコロ ハウエアナン テク  
 sekor hawean=an tek  
 と 言う(私) さっと

と言うとすぐに

- ネ… ホツケアン ア プ オロワノ  
ne... hotke=an a p orowano  
その 寝る(私) だった が それから  
眠りました。それから
- ネン イキアン ルウエ ネ ヤ  
nen iki=an ruwe ne ya  
どう する(私) の だ か  
私はどうしていたのか
- アエラミシカリ ノ アナン イネ  
a=eramiskari no an=an \_hine  
(私)わからない で いる(私) して  
わからずにいて
- 345 イネ ヘンパクト カ ホツケアン ワ  
ine hompok to ka hotke=an wa  
何 日 も 寝る(私) して  
何日か眠って
- モコラン ワ アナン アイネ… アクス  
mokor=an wa an=an ayne akusu  
眠る(私) して いる(私) うちに したところ  
いました。そうしていたところ
- カムイ メノコ イモソソ ヒネ  
kamuy menoko i=mososo hine  
神 女性 (私を)起こす して  
女神に起こされて
- モサン ルウエ ネ アクス  
mos=an ruwe ne akusu  
目覚める(私) の だっ たところ  
目を覚ますと
- オラ イサム タ も…  
ora i=sam ta も…  
こんど (私の)そば に  
私の傍らに
- 350 イタンキ ソナピ アン ワ  
itanki sonapi an wa  
お椀 山盛り あっ て  
山盛りのお椀が置かれていました。
- ネ ワ アン ペ アエ コロ アナン ペ ネ クス  
ne wa an pe a=e kor an=an pe ne kusu  
今言っているその 物 (私)食べ ながら いる(私) 物 だ から  
それを食べていたので
- イペルスイ アナクネ ソモ アキ ノ  
iperusuy anakne somo a=ki no  
お腹が空くこと は ない (私)して  
お腹が空くこともなく
- アナン ルウエ ネ コロカ  
an=an ruwe ne korka  
いる(私) の だ けれど  
いられました。けれど
- ネプ カ ウエンカムイ  
nep ka wenkamuy  
何 も 悪い神  
何かの悪神が
- 355 アコロ イタク ラマツ キシマ ワ アン ワ  
a=kor itak ramat kisma wa an wa  
(私)の 言葉 魂 をつかん で い て  
私の言葉の魂をつかんでいて

ネア イタク カ アエランペウテク。  
 nea itak ka a=erampewtek.  
 その 言葉 も (私)わからない

しゃべり方もわからなくなりました。

ネプ カ アエヤイコシラムスイパ<sup>33</sup> ヤッカ  
 nep ka a=eyaykosiramusuypa yakka  
 何 か (私)考えをめぐらし ても

何かをじっくり考えても

アオイラオイラ ワ  
 a=oyraoyra wa  
 (私)何度も忘れ て

忘れてしまい

ネプ カ アエランペウテク ノ  
 nep ka a=erampewtek no  
 何 も (私)わからず に

何もわからなくなって

360 アナン ルウエ ネ ア プ  
 an=an ruwe ne a p  
 いる(私) の だ た が

いたのですが

タネ ポ ネウン ニシパ ネ ヤ  
 tane po neun nispa ne ya  
 今初めて どの 旦那さん だ か

今やっとどこの旦那さんか

アエラミシカリ ノ  
 a=eramiskari no  
 (私)わからない で

わかりませんが

ナア イコオシコニ クシケライポ  
 naa i=kooskoni kuskeraypo  
 まだ (私を)追いかける おかげで

私を探してくれたおかげで

イタク ラマツ カ ネプ カ  
 itak ramat ka nep ka  
 言葉 魂 も 何 も

言葉の魂も何もかも

365 ウエンカムイ イコホシピレ ワ ネ ノイネ  
 wenkamuy i=kohosipire wa ne noyne  
 悪い神 (私を)戻し て である ようで

悪神が返してくれたようで

イタカン エアシカイ”  
 itak=an easkay”  
 話す(私) ができる

しゃべることができます」

セコロ ハウエアン コロ ネ オツカイポ  
 sekor hawean kor ne okkaypo  
 と 言い ながら その 男性

とその男性が

ヌペ トウラ イコエ… ヤイレ… ラプ<sup>34</sup>  
 nupe tura i=koe... yaire... rap  
 涙 とともに (私に)話す

涙ながらに私に言う

33 エヤイコシラムスイパ e-yay-ko-si-ram-suypa ~について・自分・に対して・自分・心・~を何度も揺らす

34 言いよんどんでいて正確には聞き取れない。

- ルウエ ネ ヒ クス  
ruwe ne hi kusu  
の です だから
- 370 “ トウナシ イペ イペ。  
“tunas ipe ipe.  
早く 食べる 食べる
- オラ アウニ タ シレパアン ヤク オラ  
ora a=uni ta sirepa=an yak ora  
こんど (私の)家 に 着く(私) と こんど
- エアシリ アア… ヌシンネノ ウコイタカン  
easir ap... nusimneno ukoitak=an  
そうして初めて のんびり 互いに話す(私)
- クス ネ ナ”  
kusu ne na”  
つもりだ よ
- セコロ ハウエアナン コロ  
sekor hawean=an kor  
と 言う(私) ながら
- 375 アシレン ヒネ イペオカアン ヒ オラ  
a=siren hine ipeoka=an hi ora  
(私)を連れる して 食事を終える(私) こと そして
- ナニ テケ アアニ テク ヒネ オラ  
nani teke a=ani tek hine ora  
すぐ の手 (私)持つ さっとして こんど
- ラナン イネ  
ran=an \_hine  
下る(私) して
- ヌプリ スットム タ  
nupuri suttom ta  
山 すそ に
- サナン ヒネ サパン ヒネ  
san=an hine sap=an hine  
下る(私) して 下る(私) して
- 380 テケ アアニ カネ ヒネ サパン ヒネ  
teke a=ani kane hine sap=an hine  
その手 (私)持ち も して 下る(私) して
- コタン… イシカラ エトコ ウン ニシパ  
kotan... Iskar etoko un nispa  
村 石狩川 の上流 の 旦那さん
- オロ タ ヘノイエアン ヒネ  
oro ta henoye=an hine  
の所 に 寄る(私) して
- ので
- 「早くお食べなさい。
- 家に着いてから
- ゆっくり話を
- しましよう」
- と言って
- 一緒に食事をしてから
- すぐに彼の手を取って
- 山を下りました。
- 山すそに向かって
- ずっと下りて
- 手を取って山を下りて行きました。
- 石狩の上流にある村の旦那さん
- のところに立ち寄って

タップネ タブネ ネ ヒ アイェ ワ オラノ  
 tapne tapne ne hi a=ye wa orano  
 このようなわけ であること (私)言っ て こんど

このようなわけだと説明しました。

ネ イシカラ エトコ ウン ニシパ カ  
 ne Iskar etoko un nispa ka  
 その 石狩川 の上流 の 旦那さん も

するとその旦那さんは

385 イヨクンヌレ ネ ヤ… コロ  
 iyokunnure ne ya... kor  
 驚く だ か ながら

驚いて

オロ タ シニアン イペアン イネ オラ  
 oro ta sini=an ipe=an \_hine ora  
 そこ で 休む(私) 食事をする(私) して こんど

そこで休んで食事をしてから

“ イシカラ プトウ ウン ニシパ  
 “ Iskar putu un nispa  
 石狩川 の河口 の 旦那さん

「石狩の河口の旦那さんが

ポ エポタラ ヒ  
 po epotara hi  
 子 を心配する こと

子供を心配する気持ちに

ウネノ ネ クス  
 uneno ne kusu  
 同じ だ から

変わりはないのだから

390 トウナシノ エチホシツパ ヤク ピリカ ピリカ”  
 tunasno eci=hosippa yak pirka pirka”  
 急いで (お前達)戻る と 良い 良い

急いであなたたちは帰りなさい」

セコロ ネ コタン… ネ ニシパ イェ ワ  
 sekor ne kotan... ne nispa ye wa  
 と その村 その旦那さん 言っ て

とその旦那さんは言うので

オラ シニアン カ キ イペアン カ キ  
 ora sini=an ka ki ipe=an ka ki  
 こんど 休む(私) も し 食事する(私) も し

休んで食事をしてから

オラノ スイ サパン ヒネ  
 orano suy sap=an hine  
 それから また 下る(私) して

また川を下って行きました。

オラ ネ アウニ タ カ  
 ora ne a=uni ta ka  
 こんど その (私の)家 に も

私の家にも

395 ヘノイエアン カ ソモ キ ノ  
 henoye=an ka somo ki no  
 寄る(私) も しない で

寄らずに<sup>35</sup>

35 主人公の村は石狩川の中流域にあるので、川筋を下って行くと河口にある連れの男性の家に行くには必然的に主人公の村を通ることになる。しかしこの男性の両親の心配する気持ちを考えて、自分の家には寄らずに急いで川を下って行ったということ。

サパン ヒネ  
 sap=an hine  
 下る(私) して

川を下って行って

ネ イシカラ プトウ タ サパン ヒネ  
 ne Iskar putu ta sap=an hine  
 その 石狩川 の河口 に 下る(私) して

石狩川の河口に下って行って

ナニ コタンコンニシパ ネ クス…  
 nani kotankonnispa ne kusu…  
 すぐ 村長 だ から

すぐに村おさなので…

ネ オツカイポ テケ アアニ カネ ヒネ  
 ne okkaypo teke a=ani kane hine  
 その 若い男性 の手 (私)を持ちも して

男性の手を取って

400 アフナン ルウエ ネ アクス  
 ahun=an ruwe ne akusu  
 入る(私) の だっ たところ

家に入って行きました。

ネ オンネ ウタラ  
 ne onne utar  
 その 老人 たち

その家の老人たちは

ウサメロク ヒネ オカ ヒネ  
 usamerok hine oka hine  
 並んで座っ て い て

ふたり並んで座っていて

イコホサリ イエラムトウイ カ キ ヒネ  
 i=kohosari i=eramutuy ka ki hine  
 (私)に向く (私)に驚き も し て

こちらを見ると驚いて

“アポホ ソモ ネ”  
 “a=poho somo ne”  
 (私の)息子 ではない

「息子ではないか」

405 セコン ネ ヒ クス  
 sekor\_ ne hi kusu  
 と 言う ので

と言うので

“エポホ ネ ルウエ ネ”  
 “e=poho ne ruwe ne”  
 (お前の)息子 な の です

「あなたの息子さんです」

セコロ ハウエアナン。  
 sekor hawean=an.  
 と 言う(私)

と私が答えました。そして

“アシヌマ アナクネ イシカラ エトコ<sup>36</sup> ウン  
 “asinuma anakne Iskar etoko un  
 私 は 石狩川 の上流 の

「私は石狩川の中流の

36 イシカラ ホントム Iskar hontom (石狩川の中流) の言い間違い。

イポネ プ アネ”  
ipone p a=ne”  
息子である もの (私)である

息子です」

410 セコロ ハウエアナン ルウエ ネ アクス  
sekor hawean=an ruwe ne akusu  
と 言う(私) の だっ たところ

と言ったところ

ウコパラパラクパ コロ  
ukoparaparakpa kor  
互いに泣き ながら

みんな泣きながら

アトウイ カ カマ ヘ テレケ ヘ キパ ヒネ  
atuy ka kama he terke he kipa hine  
海 上 をまたぐ か 跳ねる か し て

海をも越えんばかりに跳んで来て

ポホ コテツテレケパ ワ オラノ  
poho kotetterkepa wa orano  
息子 に駆け寄っ て こんど

息子のところに駆け寄り

オロ タ ウコパラパラクパ コロ  
oro ta ukoparaparakpa kor  
そこ で 互いに泣き ながら

みんな涙を流しながら

415 ポホ エトウン テム… クンネレパ<sup>37</sup>  
poho etun tem... kunnerepa  
息子 でふたり

息子と2人で抱き合った

ルウエ ネ ヒ クス オラ  
ruwe ne hi kusu ora  
の です だから こんど

のでした。

タップネ カネ ネ ワ アイエ  
tapne kane ne wa a=ye  
こういうわけ だ と (私)言う

私がこれまでのことを説明し

ウエンタラプ オルシペ ネ ヤ  
wentarap oruspe ne ya  
夢を見る 話 だ か

夢に見た話も

アイエ プ ネ クス オラノ  
a=ye p ne kusu orano  
(私)言う の だ から こんど

したので

420 ネ オンネクル カ  
ne onnekur ka  
その 老人 も

年寄りたちも

イコヤイライケ ヒ ネ ヤ キ コロ  
i=koyayrayke hi ne ya ki kor  
(私に)感謝する ことだ とか し ながら

私に感謝の言葉を言いました。

- オラ コタン コロ ウタラ カ ウウエカラパ ワ  
 ora kotan kor utar ka uwekarpa wa  
 こんど 村 の 人たち も 集まっ て  
 そして村人たちも集まって来て
- オラノ ウコパラパラッパ コロ  
 orano ukoparaparakpa kor  
 それから 互いに大泣きする ながら  
 みんな涙を流しながら
- ナニ ネア オツカイポ アエウオンネレ ネ ヤ  
 nani nea okkaypo a=ewonnere ne ya  
 すぐに その 若い男性 (私)顔を洗わせる だ とか  
 すぐその男の顔を洗ったり
- 425 ミ プ アタサレ ネ ヤ キ アクス  
 mi p a=tasare ne ya ki akusu  
 着る 物 (私)着替えさせる だ とかし たところ  
 着替えをさせたりしたところ
- ピリカ オツカイポ ネ ルウエ  
 pirka okkaypo ne ruwe  
 良い 若い男性 だ こと  
 美しい青年だったことに
- アオクンヌレ カ キ コロ アナン イネ  
 a=okunnure ka ki kor an=an \_hine  
 (私)驚く も し ながら いる(私) して  
 私は驚きました。
- シネ アンチカラ アコレウシパ ワ  
 sine ancikar a=korewsipa wa  
 ひと 晩 (私)泊っ て  
 一晩そこに泊まって
- ウコイタクパ ハウ アヌ コン ネ コロカ オラ  
 ukoitakpa haw a=nu kor\_ ne korka ora  
 互いに話す 声 (私)聞き ながら だ けれど こんど  
 みな話すのを聞いたのですが
- 430 “アオナ カ イエポタラ クス  
 “a=ona ka i=epotara kusu  
 (私の)父 も (私)心配する ので  
 「父も心配しているので
- ホシピアン クス ネ”  
 hosipi=an kusu ne”  
 帰る(私) します  
 帰ります」
- セコロ ハウエアナン コロ  
 sektor hawean=an kor  
 と 言う(私) ながら  
 と私は言って
- シネ アンチカラ アコレウシパ ヒネ  
 sine ancikar a=korewsipa hine  
 ひと 晩 (私)泊っ て  
 一晩泊まって
- オラ エカニネ  
 ora ek=an \_hine  
 こんど 来る(私) して  
 帰って来ました。
- 435 アウニ タ エカニネ  
 a=uni ta ek=an \_hine  
 (私の)家 に 来る(私) して  
 家に帰って来て

アオナ エウン タプネ タプネ ネ ヒ  
 a=ona eun tapne tapne ne hi  
 (私の)父 ヘ このよなわけ だ こと

父にこのようなわけだと

アイェ アクス オラノ  
 a=ye akusu orano  
 (私)言っ たところ それから

話すと

アオナハ イコプンテカ イコプンテカ  
 a=onaha ikopuntek a ikopuntek a  
 (私の)父 何度も喜ぶ

父はたいそう喜びました。

“エカシカムイェ ピリカ  
 “e=kaskamuye pirka  
 (お前の)憑き神 良い

「おまえの憑き神が良く

440 エケウトウム ピリカ ワクス  
 e=kewtumu pirka wakusu  
 (お前の)心 良い だから

おまえの心が美しいので

カムイ チカシヌカラ エキ ワ クス  
 kamuy cikasnukar e=ki wa kusu  
 神 から守られる (お前)した からこそ

神が守ってくれたのだ。

イシカラ エトコ<sup>38</sup> ウン シネ ポ<sup>4</sup> タクフ  
 Iskar etoko un sine po takuf  
 石狩川 の上流 の ひとり 息子 だけ

石狩川の河口のたったひとりの

コロ サンテケヘ エパ ワ  
 kor santekehe e=pa wa  
 の 子孫 (お前)見つけ て

後継ぎをおまえが見つけて

エトウラ ワ エエク ハウエ…  
 e=tura wa e=ek hawe…  
 (お前)連れ て (お前)来る 話

連れて来た…

445 エトウラ ワ エエク ヒ ネ ヤクン  
 e=tura wa e=ek hi ne yakun  
 (お前)連れ て (お前)来る の であれ ば

というのなら

ソンノ シアスルアシテ エネ ルウエ ネ”  
 sonno siasur'aste e=ne ruwe ne”  
 本当に 名高い (お前)である こと だ

本当におまえは自慢の息子だ」

セコロ アオナハ ハウエアン コロ  
 sekor a=onaha hawean kor  
 と (私の)父 言う ながら

と父が言って

エアラキンネ イコプンテカ イコプンテカ  
 earkinne ikopuntek a ikopuntek a  
 本当に 何度も喜んだ

たいそう喜んで

38 プトウフ putuhu 「河口」の言い間違い。

- ルウェ ネ ヒネ  
ruwe ne hine  
の であって
- 450 オラノ ネ エアンチカラ スイ  
orano ne eancikar suy  
そして その夜 また
- シンキアン ワ ホツケアン ルウェ ネ アクス  
sinki=an wa hotke=an ruwe ne akusu  
疲れる(私) して 寝る(私) の だっ たところ
- ウエンタラプアン ルウェ ネ アクス  
wentarap=an ruwe ne akusu  
夢を見る(私) の だっ たところ
- クンネ コソソテ ウトムチウレ  
kunne kosonte utomciwre  
黒い 上等な着物 を身につける
- クンネ チパヌブ エパウヌ カネ アン<sup>69</sup> メノコ  
kunne cipanup epaunu kane an menoko  
黒い かぶり物 を頭につけ て いる 女性
- 455 イサム タ アニネ  
i=sam ta an\_hine  
(私の)そばに い て
- イエホシノ アン ヒネ  
i=ehosino an hine  
(私に)背を向けて い て
- トイコヘプトウトウ ヒネ アン ヒネ オラ  
toykohepututu hine an hine ora  
ひどくふくれっ面をし て い て こんど
- エネ ハウエアニ。  
ene hawean\_hi.  
このように言った
- “ニ… カムイ オツ タ カ アン  
“ni... kamuy or\_ ta ka an  
神 の所 にも いる
- 460 アイヌ オツ タ カ アン  
aynu or\_ ta ka an  
人間 の所 にも いる
- イウオロ オツ タ カ アン ペ  
iwor or\_ ta ka an pe  
狩り場 の所 にも いる もの

いました。

そしてその夜はまた

疲れたので眠ったところ

夢を見ました。

黒い上等な着物をまとして

黒いかぶり物をした女性が

私のそばにいて

私に背を向けて

ひどくふくれっ面をしていて

このように言いました。

「神の国でも

人間の国でも

山にいるものでも

39 エゾマツの神と同じ装束で現れているが、こちらはケソラプの神である。ケソラプはこの物語中では悪神として描かれているが、力の強い神であることは間違いない。偉い神同士、双方の神の装束が同じ表現になったのであろう。

タン ウコ… 何ったべ? アン ペ…  
tan uko... 何ったべ? an pe...

ウコヤイカツカラ ペ ネ ワクス  
ukoyaykatkar pe ne wakusu  
互いに恋をする もの だ から

みんな恋をするというのに

アシヌマ ケソラブ アネ ワ  
asinuma kesorap a=ne wa  
私 ケソラブ (私)であっ て

この私、ケソラブ鳥が

465 カムイ オルン インカラン コロ  
kamuy or un inkar=an kor  
神 の所 で 見る(私) ながら

神の国を見渡しても

アヤイコトムカ プ カ イサム。  
a=yaykotomka p ka isam.  
(私)ふさわしい 者 も いない

私にふさわしい者はいません。

アイヌ オルン インカラ コン  
aynu or un inkar kor\_  
人間 の所 で 見る と

人間の国を見ると

タン オツカイポ パテク  
tan okaypo patek  
この 若い男性 だけ

この若者だけが目に止まり

アコオンルプシ ワ クス エク ウウエイ…  
a=koonrupus wa kusu ek uwei...  
(私)非常に欲しがる だから 来る

どうしても欲しくなり

470 アシコイワクテ ルウエ ネ。  
a=sikoiwakte ruwe ne.  
(私)来させる こと である

おびき寄せたのです。

タヌ克蘭 アナクネ アウク フミ  
tan ukuran anakne a=uk humi  
今 夜 は (私)奪う 感じ

今夜こそは魂を奪ってやろうと

クナク アラム コロ エカン アクス  
kunak a=ramu kor ek=an akusu  
と (私)思い ながら 来る(私) したところ

思ってやって来たところ

ヒナク ワ カ  
hinak wa ka  
どこ から か

どこからか

エエラムアン ワ エエク ワ  
e=eramuan wa e=ek wa  
(お前)わかつ て (お前)来 て

おまえがそれと知ってやって来て

475 オラ イシリコチヨツチャ ルウエ  
ora i=sirkocotca ruwe  
こんど (私を)ひどく射る こと

私をズブリと射たのでした。

ネ ア コロカ トウアイオアイ アニ  
 ne a korka tuay'oay ani  
 だっ た けれど 特別な毒矢 で

でも、特別な毒矢で

アチヨツチャ プ アナクネ  
 a=cotca p anakne  
 (人)射る もの は

射られた者は

イマカケ オシライエ カ  
 imakake osiraye ka  
 その後ろ にそらす も

矢を後ろにそらすことが

エアйкаツ ペ ネ プ ウン。  
 eaykap pe ne p un.  
 ができない もの な の だ

できないものなのです。

480 イキアン アイネ  
 iki=an ayne  
 する(私) したあげく

私は矢を受けても

ライアン アナク ソモ キ コロカ  
 ray=an anak somo ki korka  
 死ぬ(私) は しない けれど

不死身ですが

ネ アイ オムツテツ カネ  
 ne ay omuttekkane  
 その 矢 をつがえる して

その矢をつがえて

イシリコチヨツチャ プ ネ クス  
 i=sirkocotca p ne kusu  
 (私を)ひどく射る もの だ から

私をズブリと射たので

ネ アイ アエタイエ コヤイクス ワ  
 ne ay a=etayekoyaykus wa  
 その 矢 (私)引き抜く ことができなく て

その矢を引き抜くことができず

485 オラノ ネン ネン アカラ アイネ アエタイエ。  
 orano nen nen a=kar ayne a=etaye.  
 それから どうにか (私)する あげく (私)引き抜く

手を尽くしてようやく引き抜きました。

イユニン ヤイコトウヤシアン コロ  
 iyunin yaykotuyasi=an kor  
 痛み 自分は安心だ(私) と

痛みはもう心配ありませんし

ネ アイ エタイエ ルウエ ネ ア コロカ  
 ne ay etayeruwe ne a korka  
 その 矢 を引き抜く こと だっ た けれど

矢も抜けたのですが

ネ オツカイポ エネ アコオンルプシ ペ  
 ne okkaypo ene a=koonrupus pe  
 その 若い男性 こうも (私)非常に欲しが る もの

その人間の若者がどうしても欲しいのです。

アイヌ オツカイポ ネ アクス  
 aynu okkaypo ne akusu  
 人間 若い男性 だっ たところ

そこで

- 490 スクプ ホントム タ アウク ワ  
 sukup hontom ta a=uk wa  
 育つ 半ば で (私)奪っ て  
 人生の半ばで私が魂を奪って
- カムイ オツ タ  
 kamuy or\_ ta  
 神 の所 で  
 神の国で
- シンノ ウコロ シンノ ウコロ<sup>(40)</sup>  
 sinno ukor sinno ukor  
 本当の 結婚 本当の 結婚  
 本当の結婚を
- アキ クス ネ ナ。  
 a=ki kusu ne na.  
 (私)し ます よ  
 するつもりです。
- スクプ ホントム オマ<sup>(41)</sup> パクノ  
 sukup hontom oma pakno  
 育つ 半ば に入る まで  
 それまで
- 495 オナ ウタリ カシオイキパ ヤク ピリカ ナ”  
 ona utari kasioykipa yak pirka na”  
 父 たち を養う と いい よ  
 父たちを養っていたらいいでしょう」
- セコロ アン… ネ メノコ  
 sekor an... ne menoko  
 と いう その 女性  
 と、その女性が
- ハウェアン ヤク アタカラ ヒ クス  
 hawean yak a=takar hi kusu  
 言う と (私)夢に見る だから  
 言う夢を見たので
- “ソモ アンペ ネ”  
 “somo anpe ne”  
 ない 本当のこと である  
 「そんなばかな」
- セコロ ハウエアナン コロ  
 sekor hawean=an kor  
 と 言う(私) ながら  
 と言って
- 500 マッコサヌアン フミ ネ テツ コロ  
 makkosanu=an humi ne tek kor  
 パツと起きる(私) 感じ だ さっと ながら  
 パツと飛び起きたかと
- ヤイヌアン アクス  
 yaynu=an akusu  
 思う(私) したところ  
 思うと
- ネ メノコ カ ネプ カ イサム  
 ne menoko ka nep ka isam  
 その 女性 も 何 も いない  
 その女性は影も形もありませんでした。

40 シンノ ウコロ sinno ukor 本当の・結婚。なぜ2回重ねて言っているのかは不明。

41 マツ mat にも聞こえるが未詳。

- ルウエ ネ アクス アオナハ  
 ruwe ne akusu a=onaha  
 こと だったところ (私の)父  
 父が
- “マク ネ ルウエ ネ ヤ?”  
 “mak ne ruwe ne ya?”  
 どうした の だ か  
 「一体どうしたのだ」と
- 505 セコロ イウコウウエペケンヌ イ クス  
 sekor i=ukouwepekennu \_hi kusu  
 と (私に)尋ねる ので  
 私に尋ねるので
- タップネ カネ ウエンタラプアン  
 tapne kane wentarap=an  
 こういう 夢を見る(私)  
 こんな夢を見た
- ルウエ ネ ヤ アイエ アクス オラノ  
 ruwe ne ya a=ye akusu orano  
 の だ とか (私)言っ たところ こんど  
 のですと言うと
- アオナハ パシロタ ア パシロタ ア  
 a=onaha pasrota a pasrota a  
 (私の)父 何度ものしる  
 父はケソラブ鳥をさんざんにののしりました。
- エチウッカウン??<sup>42</sup>  
 eciukkaun??
- 510 “ハウエ ネ ヤクン  
 “hawe ne yakun  
 そういうこと ならば  
 「それならば
- イシカラ プトウ タ サプアン ワ  
 Iskar putu ta sap=an wa  
 石狩川 の河口 に 下る(私) して  
 石狩川の河口に下って行って
- カムイ オルン アエイヨンヌツパ クス ネ”  
 kamuy or un a=eiyonnuppa kusu ne”  
 神 の所 に (私)告げ口する つもりだ  
 神に告げ口をしてやる」
- セコン ネ ヒネ オラノ  
 sekor\_ ne hine orano  
 と いっ て こんど  
 と言って
- アコタヌ ウン ウタラ  
 a=kotanu un utar  
 (私の)村 の 人たち  
 村の
- 515 シイタツコロ ウタラ アシレン ヒネ オラ  
 siitakkor utar a=siren hine ora  
 本当に雄弁な 人たち (私)を連れる して こんど  
 雄弁な者たちを引き連れて
- サパン ヒネ  
 sap=an hine  
 下る(私) して  
 川を下って行きました。

42 未詳。

イシカラ プトウフ タ サパン ヒネ  
 Iskar putuhu ta sap=an hine  
 石狩川 の河口 に 下る(私) して

石狩川の河口に行つて

タプネ タプネ ネ ヒ アイェ アクス オラノ  
 tapne tapne ne hi a=ye akusu orano  
 このよなわけ だ こと(私)言っ たところ こんど

このようなわけだと言つたところ

イシカラ プトウ ウン ニシパ ネ ヤツカ  
 Iskar putu un nispa ne yakka  
 石狩川 の河口 の 長者 であつても

石狩川の河口の旦那さんも

520 パシロタ ア パシロタ アイネ  
 pasrota a pasrota ayne  
 何度ものしつ たあげく

ケソラブ鳥をさんざんにののしつて

“ヤクン ネノ ネイ パクノ  
 “yakun neno ney pakno  
 ならば そのよな にいつ までも

「では相変わらずいつまでも

ネ ケソラブ ネ ワ ネ オツカイボ  
 ne kesorap ne wa ne okkaypo  
 その ケソラブ であつ て その 若い男性

そのケソラブ鳥が若者に

カテカラ ワ ウク ワ ネ ヤクン  
 katekar wa uk wa ne yakun  
 に惚れ て 奪つ て である なら

惚れて魂を奪つてやるというなら

アツテイネモシリ  
 atteynemosir  
 地下の冥府

地下の冥府に

525 オナ トウラ ウヌ トウラ アツテイネモシリ  
 ona tura unu tura atteynemosir  
 父 と一緒に 母 と一緒に 地下の冥府

父神や母神と一緒に

アシリコオテレケ クス ネ”  
 a=sirkooterke kusu ne”  
 (私)けり落とす つもり だ

けり落としてやるからな」

セコロ アン ペ  
 sekor an pe  
 と いう こと

と

アオナ ウタラ ハウエオカパ コロ オカ。  
 a=ona utar haweokapa kor oka.  
 (私の)父 たち 言い ながら いる

父たちが口々に言いました。

ネ ケソラブ オルン パテク ソモ キ ノ  
 ne kesorap or un patek somo ki no  
 その ケソラブ の所 に ばかり しない で

そのケソラブ鳥のところばかりでなく

530 カムイ オピッタ エウン イヨンヌツパパ  
 kamuy opitta eun iyonnuppapa  
 神 みんな へ 告げ口をする

神々みんなに告げ口をしました。

インネ パウエトク ウタラ パテク  
inne pawetok utar patek  
大勢の 雄弁な 人たち ばかり

大勢雄弁な者たちが

オカイ ペ ネ クス  
okay pe ne kusu  
いる もの だ から

そろっているの

カムイ オルン イヨンヌツパ ロク ヒネ オラ  
kamuy or un iyonnuppa rok hine ora  
神 の所 に 告げ口をし た そして こんど

皆で神に告げ口をして

オカケ アン ヒ オラ  
okake an hi ora  
その後 ある こと そして

その後で

535 ホツケアン ルウエ ネ アクス  
hotke=an ruwe ne akusu  
寝る(私) の だっ たところ

眠ると

スイ ウェンタラパン ルウエ ネ アクス  
suy wentarap=an ruwe ne akusu  
また 夢を見る(私) こと だっ たところ

また私は夢を見ました。

スイ ネア メノコ イサム タ アン ヒネ  
suy nea menoko i=sam ta an hine  
また その 女性 (私の)そばに いる して

またあの女性が私のそばにいて

エネ ハウエアニ。  
ene hawean \_hi.  
このように言った

このように言いました。

“タネ アナクネ ネウン ネ ヤツカ  
“tane anakne neun ne yakka  
今 は どう であつても

「もうどうやっても

540 ネ アイヌ オツカイポ アウク カ エアイカブ ノ  
ne aynu okkaypo a=uk ka eaykap no  
その 人間 若い男性 (私)奪い も できない で

あの人間の若者を奪うことはできない上に

カムイ ウタラ ウウエカラパ ワ オラノ  
kamuy utar uwekarpa wa orano  
神 たち 集まっ て こんど

神々が集まって

アイコパシロタ アイウコキツキク。  
a=i=kopasrota a=i=ukokikkik.  
(人が私を)ののしる (人が私を)皆で叩く

私をののしり私を叩きました。

アオナハ ポ ヘネ  
a=onaha po hene  
(私の)父 なおさら

中でも父は

イトイコキツキク コロ  
i=toykokikkik kor  
(私を)ひどく叩く ながら

私をひどく叩いて

- 545 イコパシロタ ア イコパシロタ ア  
i=kopasrota a i=kopasrota a  
(私を)何度ものしる  
何度ものしり
- アツテイネモシリ イコオテレケ クナク イェ コロ  
atteinemosir i=kooterke kunak ye kor  
地下の冥府 (私を)けり落とす と 言い ながら  
地下の冥府にけり落としてやると言って
- アオナハ ポ ヘネ  
a=onaha po hene  
(私の)父 なおさら  
父はなおいっそう
- イコパシロタ ア イコパシロタ ア  
i=kopasrota a i=kopasrota a  
(私を)何度ものしる  
私を叱りました。
- ルウエ ネ クス  
ruwe ne kusu  
の だ から  
なので
- 550 タネ アナクネ エネ アコン ルスイ ペ  
tane anakne ene a=kor\_ rusuy pe  
今 は このように (私)持ち たい もの  
あんなに欲しかった
- アイヌ オツカイポ ネ ア コロカ  
aynu okkaypo ne a korka  
人間 若い男性 だった けれど  
人間の男性でしたが
- タネ アヤイラミカラ<sup>43</sup> ワ  
tane a=yayramikar wa  
もう (私)あきらめる して  
今はもうあきらめて
- クス ネ ナ… ワ…  
kusu ne na... wa...  
つもりだ よ して
- ヤイカタ カ カムイ オツ タ  
yaykata ka kamuy or\_ ta  
自分 も 神 の所 で  
自分も神の国で
- 555 アヤイラメコテ オツカヨ  
a=yayramekote okkayo  
(私)思いを寄せる 男性  
私が思いを寄せる男性と
- トゥラノ アナン クス ネ ナ。  
turano an=an kusu ne na.  
と一緒に 暮らす(私) つもり だ よ  
結婚するつもりです。
- アイヌ オツカイポ カ アイヌ メノコ  
aynu okkaypo ka aynu menoko  
人間 若い男性 も 人間 女性  
人間の若者も人間の女性と

43 ヤイラミカラ yayramikar という語は未見。ヤイラムキツカラ yayramikkar 「あきらめる」と言おうとしたものか。

- トウラノ オカ ヤク ピリカ ナ”  
 turano oka yak pirka na”  
 と一緒に 暮らす と いい よ
- セコロ アン ウェンタラプ  
 sekor an wentarap  
 と いう 夢を見ること
- 560 スイ アキ ルウェ ネ ヒネ  
 suy a=ki ruwe ne hine  
 また (私)する の であって
- アイェ ルウェ ネ アクス  
 a=ye ruwe ne akusu  
 (私)を言う こと だっ たところ
- オカ ウタラ カ ウェンタラプ ルウェ ネ  
 oka utar ka wentarap ruwe ne  
 いる 人たち も 夢を見る こと である
- ヤク イェパ コロ オラノ  
 yak yepa kor orano  
 と 言い ながら こんど
- パシロタ カ キパ ヒ オラ エアシリ  
 pasrota ka kipa hi ora easir  
 ののしり も し てから 初めて
- 565 サケ アカラ カ キ ヒネ オラ  
 sake a=kar ka ki hine ora  
 酒 (私)作り も し て から
- ネ スンク トノ マツ エウン  
 ne sunku tono mat eun  
 その エゾマツ 神 妻 へ
- インネ ウタラ アネ ヒネ パイエアン ヒネ  
 inne utar a=ne hine paye=an hine  
 大勢の 人たち (私達)になっ て 行く(私) して
- ネ スンク トノ マツ オロ タ  
 ne sunku tono mat oro ta  
 その エゾマツ 神 妻 の所 に
- パイェアン ワ オラノ  
 paye=an wa orano  
 行く(私) して それから
- 570 アオナ ウタラ ホリピ<sup>44</sup> トウラ  
 a=ona utar horipi tura  
 (私の)父 たち 踊り とともに
- 結婚したらいいのです」
- という夢を
- また見たので
- それを(父たちに)言うと
- そこにいた人たちも夢を見た
- と口々に言って
- ののしりました。
- 私たちは酒をつくって
- あのエゾマツの神の奥方のところへ
- 大勢で行って
- あのエゾマツの神の奥方のところへ
- 行って
- 父たちは踊りながら

44 神に祈る際に踊りの所作を伴うことがある。

カムイコヤイライケ ヒ  
 kamuykoyayrayke hi  
 神に感謝する こと

神に感謝の言葉を

イエ ロク イエ ロクパ コロ  
 ye rok ye rokpa kor  
 何度も言い ながら

何度も言いました。

イナウ ネ ヤツカ ポロンノ  
 inaw ne yakka poronno  
 木幣 であっても たくさん

木幣もたくさん

アセ ワ パイエアン ペ ネ クス  
 a=se wa paye=an pe ne kusu  
 (私)背負って 行く(私) もの だ から

持って行ったので

575 ニテケヘ ワノ トウママハ ネ ヤ  
 nitekehe wano tumamaha ne ya  
 木の枝 から 木の幹 だ とか

木の枝から幹まで

イナウコタタク<sup>45</sup> ワ… ルウエ ネ ヒネ  
 inawkotaktaku wa ruwe ne hine  
 木幣をつけ して こと であって

木幣をつけて

オラノ スンク カムイ パテク ソモ キ ノ  
 orano sunku kamuy patek somo ki no  
 そして エゾマツ 神 ばかり しない で

それからエゾマツの神ばかりでなく

イウオロコロカムイ ネ ヤツカ  
 iworkorkamuy ne yakka  
 狩り場の神 であっても

狩場の神や

カムイ オピッタ アウコノミ シリ ネ  
 kamuy opitta a=ukonomi siri ne  
 神 みんな (私)に皆で祈る 様子 である

神様みんなに祈ります

580 ヤク アイエ コロ  
 yak a=ye kor  
 と (私)言い ながら

と言って

オロ タ カムイノミアン ネ ヤ  
 oro ta kamuy nomi=an ne ya  
 そこ で 神に祈る(私) だ とか

そこで祈りの儀式をし

ウサ シラリ ネ ヤツカ サケ ネ ヤツカ  
 usa sirari ne yakka sake ne yakka  
 いろいろ酒粕 で も 酒 で も

酒粕も酒も

アチャラパ<sup>46</sup>。  
 a=carpa.  
 (私)をまく

まきました。

45 神へ捧げるイナウ inaw 「木幣」をエゾマツの木のそこかしこにつけたということ。こうすることで神は神格をますます高めることになる。

46 神への供物。神が最も喜ぶとされるもののひとつ。祈りながらまくという行為により神に届くとされる。

スンク トノ マツ アコヤイライケ。  
 sunku tono mat a=koyayrayke.  
 エゾマツ 神 妻 (私)に感謝をする

エゾマツの神の奥方に感謝しました。

585 アン クシ ケライボ  
 an kus keraypo  
 ある おかげで

そのおかげで

イシカラ エトコ<sup>47</sup> ウン イボネ プ  
 Iskar etoko un ipone p  
 石狩川 の上流 の 息子である 者

石狩川の河口の息子が

アシクヌレ プ ネ クス  
 a=siknure p ne kusu  
 (私)生かす の だ から

生きられたので

ネ スンク トノ マツ アコヤイライケ ヒ  
 ne sunku tono mat a=koyayrayke hi  
 その エゾマツ 神 妻 (私)感謝をする こと

そのエゾマツの神の奥方に感謝をしますと

ヤイカタ カ アイエ。 アオナ ウタリ カ  
 yaykata ka a=ye. a=ona utari ka  
 自分で も (私)言う (私の)父 たち も

私自身も祈り、父たちも

590 イエ ロク イエ ロクパ ヒネ オラ ホシツパアン。  
 ye rok ye rokpa hine ora hosippa=an.  
 を何度も言っ て こんど 帰る(私)

何度も祈ってから帰って来ました。

イシカラ エトコ<sup>48</sup> ウン ニシパ ネ ヤツカ  
 Iskar etoko un nispa ne yakka  
 石狩川 の上流 の 長者 で も

石狩川の河口の旦那さんも

イトウラ カネ ワ  
 i=tura kane wa  
 (私を)連れ も して

一緒に行きました。

ヤイライケアン ヒ  
 yayrayke=an hi  
 感謝する(私) こと

感謝を伝えるに

スンク トノ マツ オルン  
 sunku tono mat or un  
 エゾマツ 神 妻 の所に

エゾマツの神の奥方のところに

595 インネ ウタラ ネ パイエアン ヒネ オラノ  
 inne utar ne paye=an hine orano  
 大勢の 人たち で 行く(私) して こんど

大勢で行って

ホシツパアン ヒ オラノ アナクネ  
 hosippa=an hi orano anakne  
 帰る(私) してから は

帰って来てからは

47 プトゥフ putuhu 「河口」の言い間違い。

48 プトゥフ putuhu 「河口」の言い間違い。

ネプ アエラナツ カ ソモ キ ノ  
 nep a=eranak ka somo ki no  
 何 (私)困る も しない で

何を困ることもなく

オカアン アイネ  
 oka=an ayne  
 暮らす(私) したあげく

暮らしました。

ネ イシカラ プトウ ウン オツカヨ ネ ヤツカ  
 ne Iskar putu un okkayo ne yakka  
 その 石狩川 の河口 の 男性 で も

その石狩川の河口の男性も

600 ピリカ メノコ オラ エアシリ エトウン。  
 pirka menoko ora easir etun.  
 良い 女性 そして 初めて で結婚する

やがて美しい女性と結婚しました。

ヤイカタ カ メノコ アエトウン ワ  
 yaykata ka menoko a=etun wa  
 自分 も 女性 (私)で結婚する して

自分も女性と結婚して

オカアン ラポツケ  
 oka=an rapokke  
 暮らす(私) そのうちに

そのうちに

アオナ ウタラ カ コシマツ カ ヌカラパ  
 a=ona utar ka kosmat ka nukarpa  
 (私の)父 たち も 嫁 も 見る

父たちも嫁を見て

ポ カ ヌカラパ ヒ オラ オンネ。  
 po ka nukarpa hi ora onne.  
 子供 も 見 て から 老死する

孫も見てから年をとり

605 アオナハ カ ピリカ アオンネレ。  
 a=onaha ka pirka a=onnere.  
 (私の)父 も 良い (私)看取る

天寿を全うして死にました。

イシカラ エトコ<sup>49</sup> ウン ニシパ カ  
 Iskar etoko un nispa ka  
 石狩川 の上流 の 長者 も

石狩川の河口の旦那さんたちも

ピリカ アオンネレ キ  
 pirka a=onnere ki  
 良い (人)看取る する

天寿を全うし

オカ タ ポシレシクテアン ワ  
 oka ta posiresikte=an wa  
 その後 で 子供がたくさんできる(私) して

後で子供がたくさんできて

ウタシパ ウコパヨカアン  
 utaspa ukopayoka=an  
 お互いに 互いに行き来する(私)

私たちはお互いに行き来して

49 プトウフ putuhu 「河口」の言い間違い。

- 610 ウコシネウパアン。  
ukosinewpa=an.  
互いに訪ね合う(私)
- サケ アコロ コロ  
sake a=kor kor  
酒 (私)持つ と
- アコイクタサ イコイクタサ ワ  
a=koikutasa i=koikutasa wa  
(私)酒を酌み交わす (私に)酒を酌み交わして
- オカアン ロク ヒネ オンネアン ナ。  
oka=an rok hine onne=an na.  
暮らす(私) だった して 年をとる(私) だよ
- アポ ウタリ カ オンネ ポロ ヒ オラ  
a=po utari ka onne poro hi ora  
(私の子たち も 年をとる 大きくなっ て から
- 615 ヤイカタ オンネアン エトコ タ  
yaykata onne=an etoko ta  
自分 老死する(私) 前 に
- スンク トノ マツ ノミパ クニ  
sunku tonono mat nomipa kuni  
エゾマツ 神 妻 に祈る ように
- アコイタクムイエアン<sup>60</sup> クス…  
a=koitakmuye=an kusu…  
(私)に言い置く(私) ので
- アコイタクムイエ ヤカナクネ  
a=koitakmuye yak anakne  
(私)言い置く と は
- “ネイ パクノ エチ… スンク トノ マツ  
“ney pakno eci=… sunku tonono mat  
いつ までも (お前達) エゾマツ 神 妻
- 620 エチエプンキネ クス ネ ナ”  
eci=epunkine kusu ne na”  
(お前達を)守る します よ
- セコロ アン ペ アポ ウタラ  
sekor an pe a=po utar  
と いう こと (私の子 たち
- アコイタクムイエ コロ アナン アイネ  
a=koitakmuye kor an=an ayne  
(私)言い置き ながら いる(私) したあげく
- 訪ね合いました。
- 酒が手に入ると
- 互いに酌み交わしながら
- 年をとっていったのです。
- 息子たちも大きくなり
- 私も死ぬ前に
- エゾマツの神の奥方に祈るよう
- 子供たちに言い聞かせました。
- それは
- 「いつまでもエゾマツの神の奥方が  
おまえたちを守ってくれますよ」
- と子供たちに
- 言い聞かせつつ

50 2項動詞に人称接辞が前後についていると思われる例。あるいはアコ…イタクムイエアン a=ko… itakmuye=an と言い直しているのかも知れないが、音声を聞く限りでは途切れがないのでそのまま記した。

オンネアン ペ ネ ア クス アイェ セコロ  
onne=an pe ne a kusu a=ye sekor  
年をとる(私) もの だっ た ので (私)言う と

死んでいくのでお話ししますと

シノ ニシパ イソイタク セコン ネ。  
sino nispa isoytak sekor\_ ne.  
真の 長者 物語る と さ

ひとりの旦那さんが物語りましたとさ。

アイヌ民族博物館 民話ライブラリ 1

## 上田トシの民話 1

---

発行日 2015年2月28日

編集・発行 一般財団法人 アイヌ民族博物館

〒059-0902 北海道白老郡白老町若草町2-3-4

TEL 0144-82-4199 FAX 0144-82-6121

---

本書は平成26年度公益財団法人アイヌ文化振興・研究推進機構の研究・出版助成（アイヌ文化関連出版助成）の成果である。